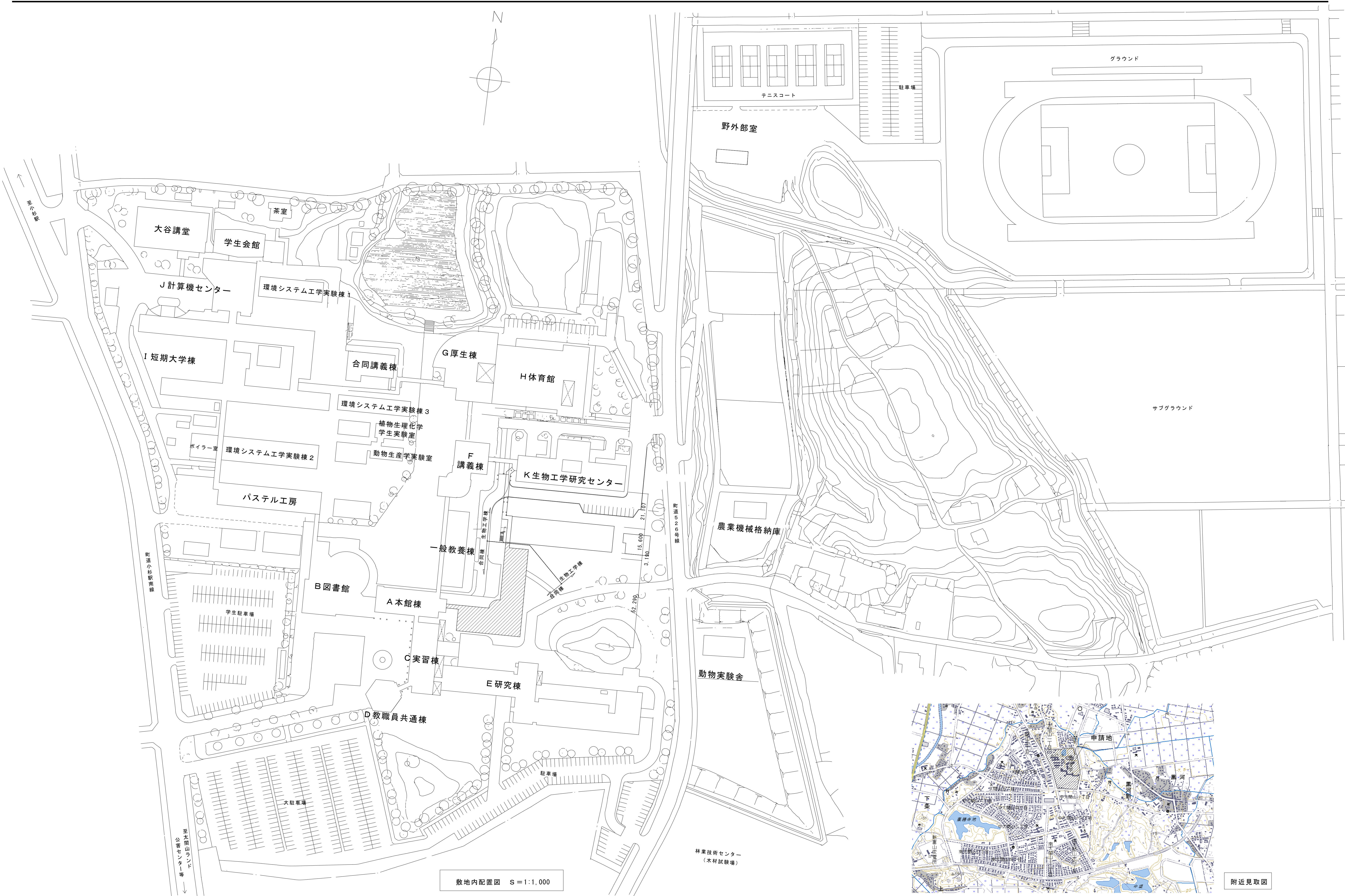
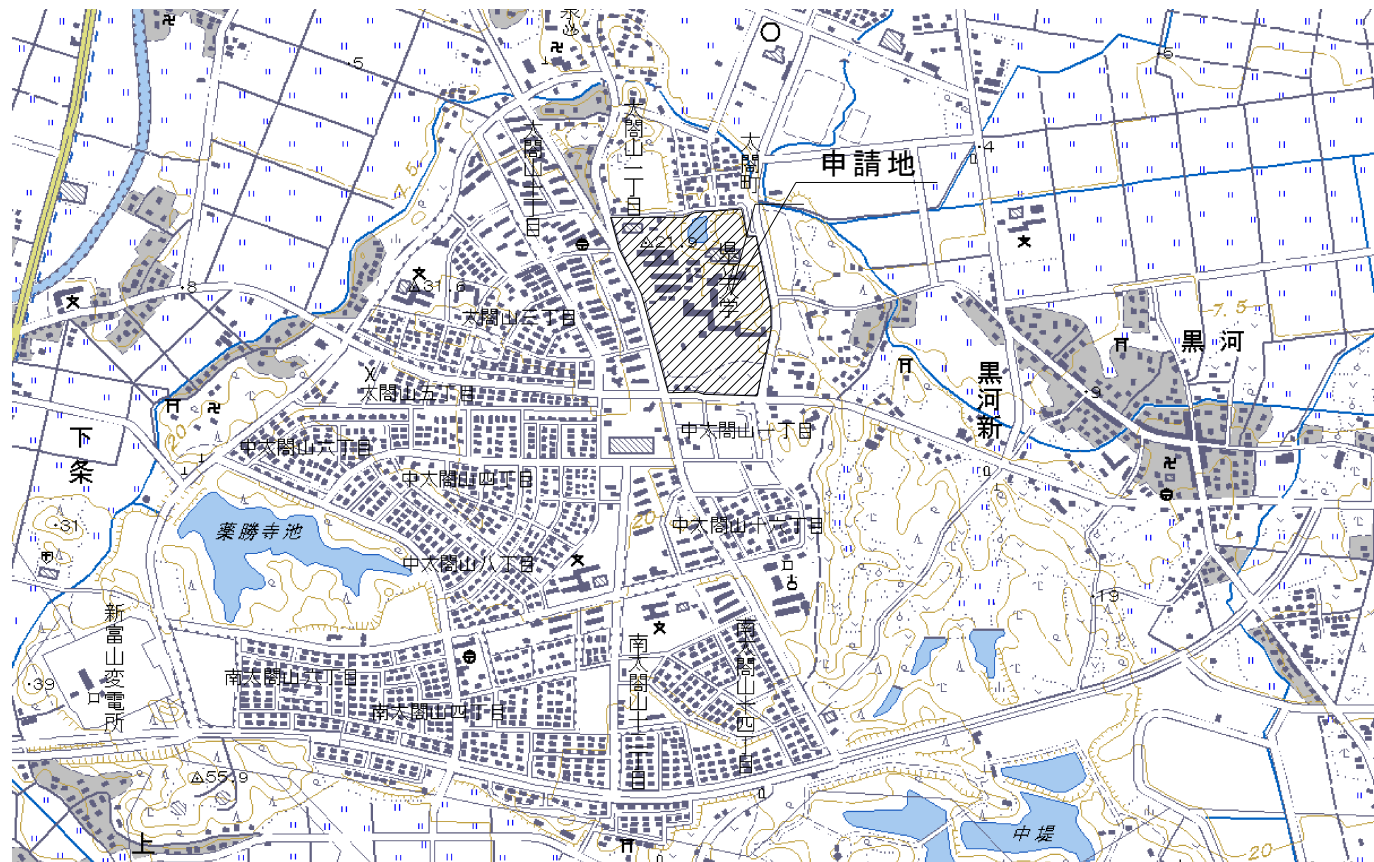


富山県立大学 合同棟 増築工事

図 面 リ ス ト											
建 築			構 造			電 気			機 械		
No	図面番号	図面名称	No	図面番号	図面名称	No	図面番号	図面名称	No	図面番号	図面名称
0 1	A－0 1	表紙・図面リスト	1 4	S－0 1	構造標準図	1 7	E－0 1	－	2 6	M－0 1	機械設備 特記仕様書
0 2	A－0 2	特記仕様書	1 5	S－0 2	基礎・1階床伏図、軸組図	1 8	E－0 2	－	2 7	M－0 2	機械設備 機器表、換気計算書
0 3	A－0 3	敷地内配置図 附近見取図	1 6	S－0 3	鉄骨詳細図	1 9	E－0 3	－	2 8	M－0 3	給排水衛生設備 1階 平面図
0 4	A－0 4	仕上表・面積表				2 0	E－0 4	電灯設備配線図	2 9	M－0 4	空調設備 1階 平面図
0 5	A－0 5	平面図				2 1	E－0 5	1階 コンセント設備配線図	3 0	M－0 5	空調設備 2階 平面図
0 6	A－0 6	断面詳細図				2 2	E－0 6	空調配線設備図	3 1	M－0 6	空調設備 R階 平面図
0 7	A－0 7	平面詳細図（第一期）				2 3	E－0 7	1階 電話・情報設備配線図	3 2	M－0 7	換気設備 1階 平面図
0 8	A－0 8	平面詳細図（第二期）				2 4	E－0 8	1階 非常放送・時計設備配線図	3 3	M－0 8	自動制御設備 1階 平面図
0 9	A－0 9	天井伏図				2 5	E－0 9	1階 火災報知設備配線図	3 4	M－0 9	自動制御設備 2階 平面図
1 0	A－1 0	建具表（第一期）							3 5	M－1 0	自動制御設備 R階 平面図
1 1	A－1 1	建具表（第二期）									
1 2	A－1 2	展開図									
1 3	A－1 3	外構平面図									



敷地内配置図 S=1:1,000



附近見取図

富山県建築設計監理協同組合		工事名 富山県立大学 合同棟 増築工事		管理技術者 一級建築士登録第261836号 酒井 武志 印		図面番号 A-03
富山県安住町7番1号 電話(076)432-9785 理事長 稲葉 実 管理建築士 一級建築士登録第57667号 林 富男		図面名 敷地内配置図 附近見取図		縮尺 1:1000	担当 監修	

外部仕上表

外 壁	押出成型セメント版 t 1 8（ラムダ 1 H耐火構造仕様）ウレタン系塗装品 一部 t 2 5 ボーダータイプ（L 2 5－1 0 S）		
巾 木	コンクリート打放し 防水型複層塗材 R E		
タテドイ	既存カラーVP 1 5 0 φ 撤去 カラーVP 1 5 0 φ 新設 隠み金物：S U S 製（既製品）@ 1. 2 0 0 内外		
軒 天	既存ケイカル板 t 6 軽天下地共撤去 ケイカル板 t 6 目透し張 E P 軽天下地共新設		

共通事項

――屋上スラブ下、共同溝に面するスラブ、収掛け等軒天面するスラブ下には、断熱材 t 25打込みのこと。（フォームポリスチレン板）――
土間下には断熱材 t 25を設ける。
土間下には防湿シート t 0. 15を設ける。
外部に面する壁で内部仕上がタイル又は打放シ仕上以外の内壁側には、現場発泡ウレタン t 20吹付けのこと。（オゾン層破壊係数ゼロタイプ）
コンクリート打放シ増しコンクリートは特記なき限りは、外部20mm・内部10mmとする。
――L G S間仕切り壁は梁下及びスラブ下までとする。――
外部開口部（サッシ・換気口・設備機器等）廻り、及び断熱材欠損部分は現場発泡ウレタン充填のこと（開口部廻りは防水モルタルトロ詰メの上）
同一仕上げ面で下地の異なる部分には目地を設ける。
――コンクリートブロック面で左管仕上をする箇所には平ラスト号を施す。――
――屋内タテドイは防露処理を施す。（発泡ポリスチレン t 20―ビニールテープ巻き―機械設備工事）――
ビニール床シートは全て溶接継手とする。
壁・天井内隠ベイ部分において、鉄部（溶融亜鉛メッキ処理部分を除く）には錆止めを施す。
シーリング 建具廻り・アルミ水切廻り・その他 10×10
シーリング タイル伸縮目地・打継ぎ部・その他 25×20
シーリング アルミパネル及びP C板 15×10
シーリング 無石綿ケイカル面シール部分 10×7
既設建物取り合い部に関する解体工事・改修工事によっては既設建物周辺再調査の上、詳細及び寸法及び範囲を決定のこと。
消火器ボックス 2箇所 （ユニオン U F B－1 F－2 7 4 0 N同等）

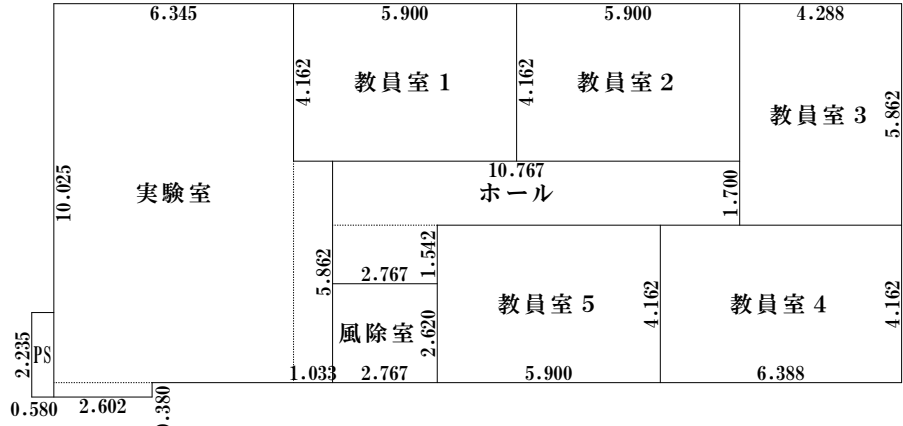
内部仕上表

階	室 名	床	巾 木	壁	天 井	天井高	廻縁	備 考
1	実験室	コンクリート直均し O Aフロア H 1 5 0 下地 タイルカーペット t 6、 5	ビニール巾木 H＝6 0	Ⓐ GB－R t 1 2、 5＋E P－G塗り Ⓐ GB－F t 1 2、 5＋1 2、 5両面張り＋E P－G塗り（防火上主要な間仕切）	既存ケイカル板 t 6 軽天下地共撤去 GB－R t 9、 5＋D R t 9、 0 軽天下地共新設	3、 0 0 0	△	ステンレスライニング
	教員室1～5	全 上	全 上 H＝6 0	全 上	全 上	3、 0 0 0	△	ステンレスライニング
	風除室	コンクリート直均し O Aフロア H150（5000Nt/g）下地 複層ビニル床タイル t 3 （東リ ロイヤルストーン・モア同等品）	全 上 H＝6 0	全 上	全 上	3、 0 0 0	△	
	廊下	コンクリート直均し O Aフロア H150（5000Nt/g）下地 タイルカーペット t 6、 5	全 上 H＝6 0	全 上	全 上	3、 0 0 0	△	ブラインドボックス

参考：第二期工事 内部仕上表

改 修 前 ▽ 改 修 後	実験室 教員室1、 2	コンクリート直均し O Aフロア H 1 5 0 下地 タイルカーペット t 6、 5	ビニール巾木 H＝6 0	Ⓐ GB－R t 1 2、 5＋E P－G塗り Ⓐ GB－F t 1 2、 5＋1 2、 5両面張り＋E P－G塗り（防火上主要な間仕切）	既存ケイカル板 t 6 軽天下地共撤去 GB－R t 9、 5＋D R t 9、 0 軽天下地共新設	3、 0 0 0	△	ステンレスライニング
	キャリアセンター	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	3、 0 0 0	△	
改 修 前 ▽ 改 修 後	教員室3～5	コンクリート直均し O Aフロア H 1 5 0 下地 タイルカーペット t 6、 5	ビニール巾木 H＝6 0	Ⓐ GB－R t 1 2、 5＋E P－G塗り Ⓐ GB－F t 1 2、 5＋1 2、 5両面張り＋E P－G塗り（防火上主要な間仕切）	既存ケイカル板 t 6 軽天下地共撤去 GB－R t 9、 5＋D R t 9、 0 軽天下地共新設	3、 0 0 0	△	ステンレスライニング
	会議室	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	3、 0 0 0	△	

面 積 表



床面積計算表			単位_m2
室 名	計算式 (X x Y)	計	
風除室	2.767x2.62	7.2495	
ホール	10.767x1.70+2.767x1.542	22.5706	
実験室	6.345x10.025+2.602x0.38+1.033x5.862	70.6528	
教員室 1	5.90x4.162	24.5558	
教員室 2	5.90x4.162	24.5558	
教員室 3	4.288x5.862	25.1362	
教員室 4	6.388x4.162	26.5868	
教員室 5	5.90x4.162	24.5558	
P S	0.58x2.235	1.2963	
床面積 合計			227.16

外部仕上表

外 壁	押出成型セメント版 t 1 8（ラムダ 1 H耐火構造仕様）ウレタン系塗装品 一部 t 2 5 ボーダータイプ（L 2 5－1 0 S）		
巾 木	コンクリート打放し 防水型複層塗材 R E		
タテダイ	既存カラー V P 1 5 0 φ 撤去 カラー V P 1 5 0 φ 新設 隠み金物：S U S 製（既製品）@ 1. 2 0 0 内外		
軒 天	既存ケイカル板 t 6 軽天下地共撤去 ケイカル板 t 6 目透し張 E P 軽天下地共新設		

共通事項

- ― 屋上スラブ下、共同溝に面するスラブ、吹抜け等軒天面するスラブ下には、断熱材 t 25 打込みのこと。（フォームポリスチレン板）
- 土間下には断熱材 t 25 を設ける。
- 土間下には防湿シート t 0. 15 を設ける。
- ― 外部に面する壁で内部仕上がタイル又は打放シ仕上以外の内壁側には、現場発泡ウレタン t 20 吹付けのこと。（オゾン層破壊係数ゼロタイプ）
- コンクリート打放シ増しコンクリートは特記なき限りは、外部 20mm・内部 10mm とする。
- ― L G S 間仕切り壁は梁下及びスラブ下までとする。
- ― 外部開口部（サッシ・換気口・設備機器等）廻り、及び断熱材欠損部分は現場発泡ウレタン充填のこと（開口部廻りは防水モルタルトロ詰めの上）
- 同一仕上げ面で下地の異なる部分には目地を設ける。
- ― コンクリートブロック面で左管仕上をする箇所には平ラスト号を施す。
- ― 屋内タテダイは防露処理を施す。（発泡ポリスチレン t 20―ビニールテープ巻き―機械設備工事）
- ビニール床シートは全て溶接継手とする。
- 壁・天井内隠ぺい部分において、鉄部（溶融亜鉛メッキ処理部分を除く）には錆止めを施す。
- シーリング 建具廻り・アルミ水切廻り・その他 10×10
- シーリング タイル伸縮目地・打継ぎ部・その他 25×20
- シーリング アルミパネル及び P C 板 15×10
- シーリング 無石綿ケイカル面シール部分 10×7
- 既設建物取り合い部に関する解体工事・改修工事によっては既設建物周辺再調査の上、詳細及び寸法及び範囲を決定のこと。
- 消火器ボックス 2 箇所（ユニオン U F B－1 F－2 7 4 0 N 同等）

内部仕上表

階	室 名	床	巾 木	壁	天 井	天井高	廻縁	備 考
1	実験室	コンクリート直均し O A フロア H t 1 5 0 下地 タイルカーペット t 6、 5	ビニール巾木 H＝6 0	Ⓐ G B－R t 1 2、 5＋E P－G 塗り Ⓒ L G S 面 Ⓓ G B－F t 1 2、 5＋1 2、 5 両面張り＋E P－G 塗り（防火上主要な間仕切）	既存ケイカル板 t 6 軽天下地共撤去 G B－R t 9、 5＋D R t 9、 0 軽天下地共新設	3、 0 0 0	△	ステンレスライニング
	教員室 1～5	全 上	全 上 H＝6 0	全 上	全 上	3、 0 0 0	△	ステンレスライニング
	風除室	コンクリート直均し O A フロア H150（5000Nt/G）下地 複層ビニル床タイル t 3 （東リ ロイヤルストーン・モア同等品）	全 上 H＝6 0	全 上	全 上	3、 0 0 0	△	
	廊下	コンクリート直均し O A フロア H150（5000Nt/G）下地 タイルカーペット t 6、 5	全 上 H＝6 0	全 上	全 上	3、 0 0 0	△	ブラインドボックス

凡例 Ⓐ ① ② ③

コンクリート面
L G S 面
コンクリートブロック面

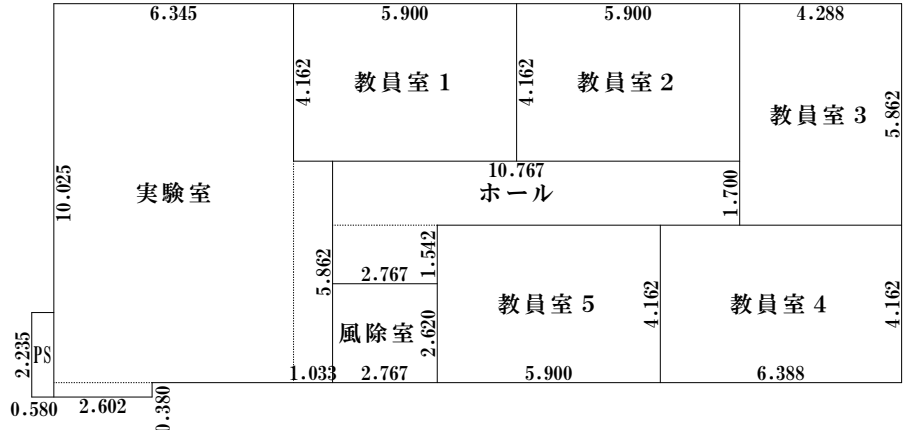
特記無き限り天井下地は L G S とする
屋内 1 9 型
屋外 2 5 型

木 ― 木製廻縁
△ ― 塩ビ見切縁 突付
○ ― 塩ビ見切縁 目透シ

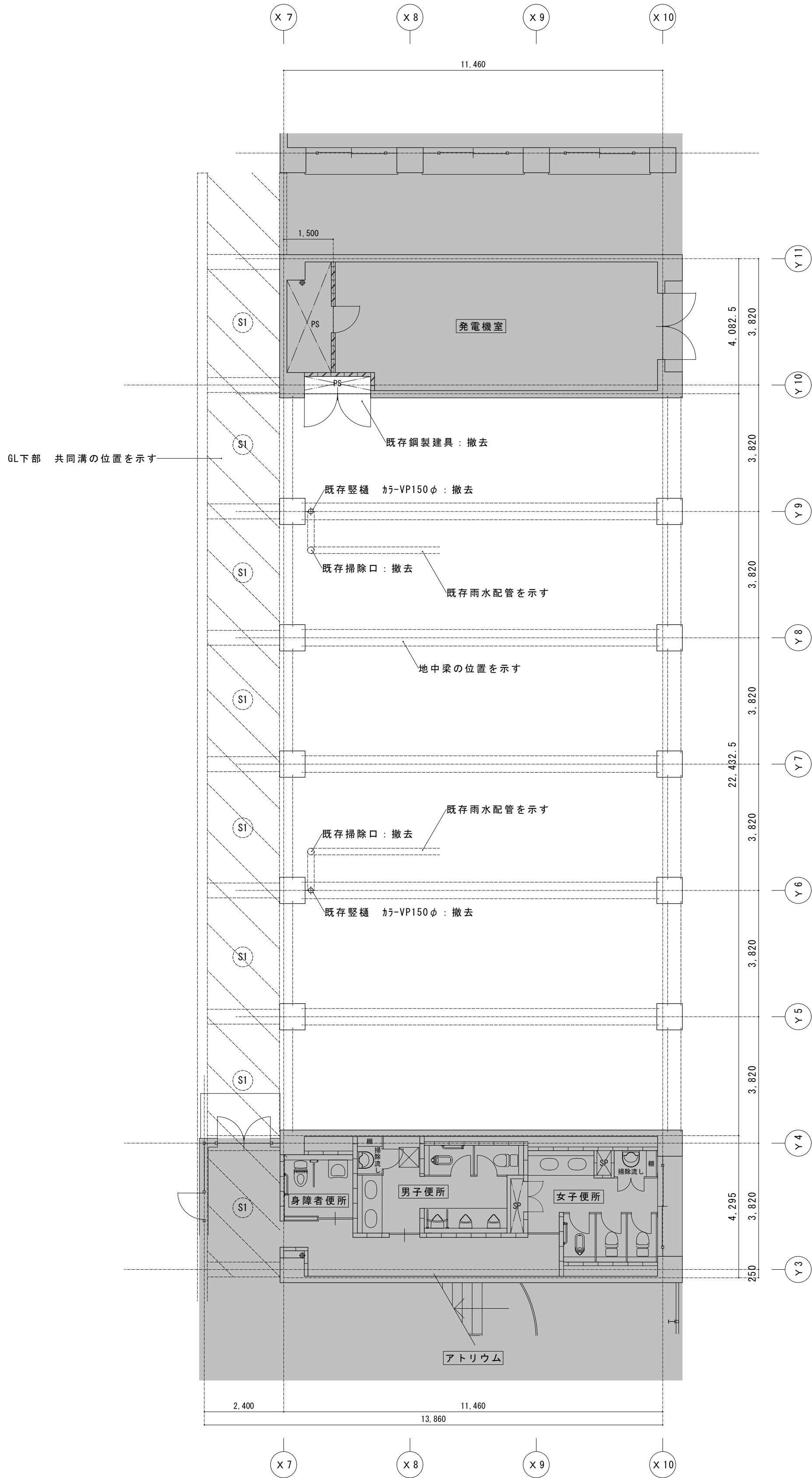
防火材料

G B－R t 9. 5（石こうボード） G B－R t12. 5（石こうボード） G B－F t12. 5、 15、 21（強化石こうボード） G B－S t 9. 5（耐水石こうボード） G B－S t12. 5（耐水石こうボード） 化粧吸音石こうボード t 9. 5（スクエアートーン・D） G B－N C t 9. 5（化粧石こうボード） 穴あき石こうボード t12. 5 ケイカル板 D R t 9. 0（ロックウール化粧吸音板） ゲ 57℃-A 保温材 t 50、 t 100	（準不燃 QM-9828） （不燃 NM-8619） （不燃 NM-8615） （準不燃 QM-9826） （準不燃 QM-9828） （不燃 NM-0879） （不燃 NM-0296） （準不燃 QM-9827） （不燃 NM-8578） （不燃 NM-8590） （不燃 NM-0454）	※塗料は下記による SOP、FE、2-FUE、EP、 EP-M、EP-T、EP-G、AE、 NAD、2-ASE 不燃材料下地 ……………（不燃 NM-8585） 準不燃材料下地 ……………（準不燃 QM-9816） 難燃材料下地 ……………（難燃 RM-9364）	
建基法28条の2関係			
建基法28条の2に基づき、使用する材料は石棉等を添加したものは用いないこと。 内装に用いる材料はすべてF☆☆☆☆品を用いること。			
建基法37条関係			
建基法37条に基づき、使用する材料は日本工業規格又は日本農林規格に適合するもの又は国土交通大臣の認定を受けたものを用いること。			

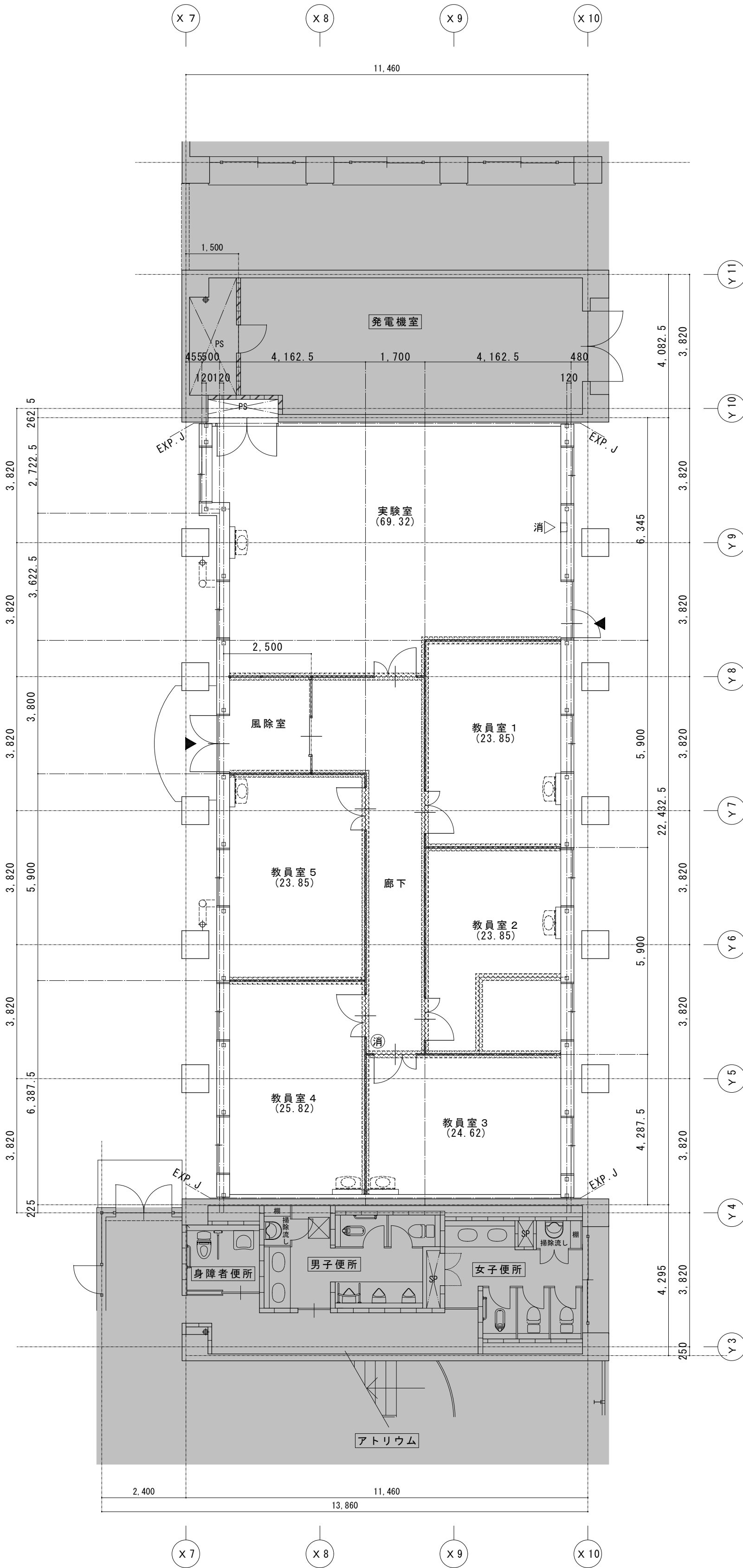
面 積 表



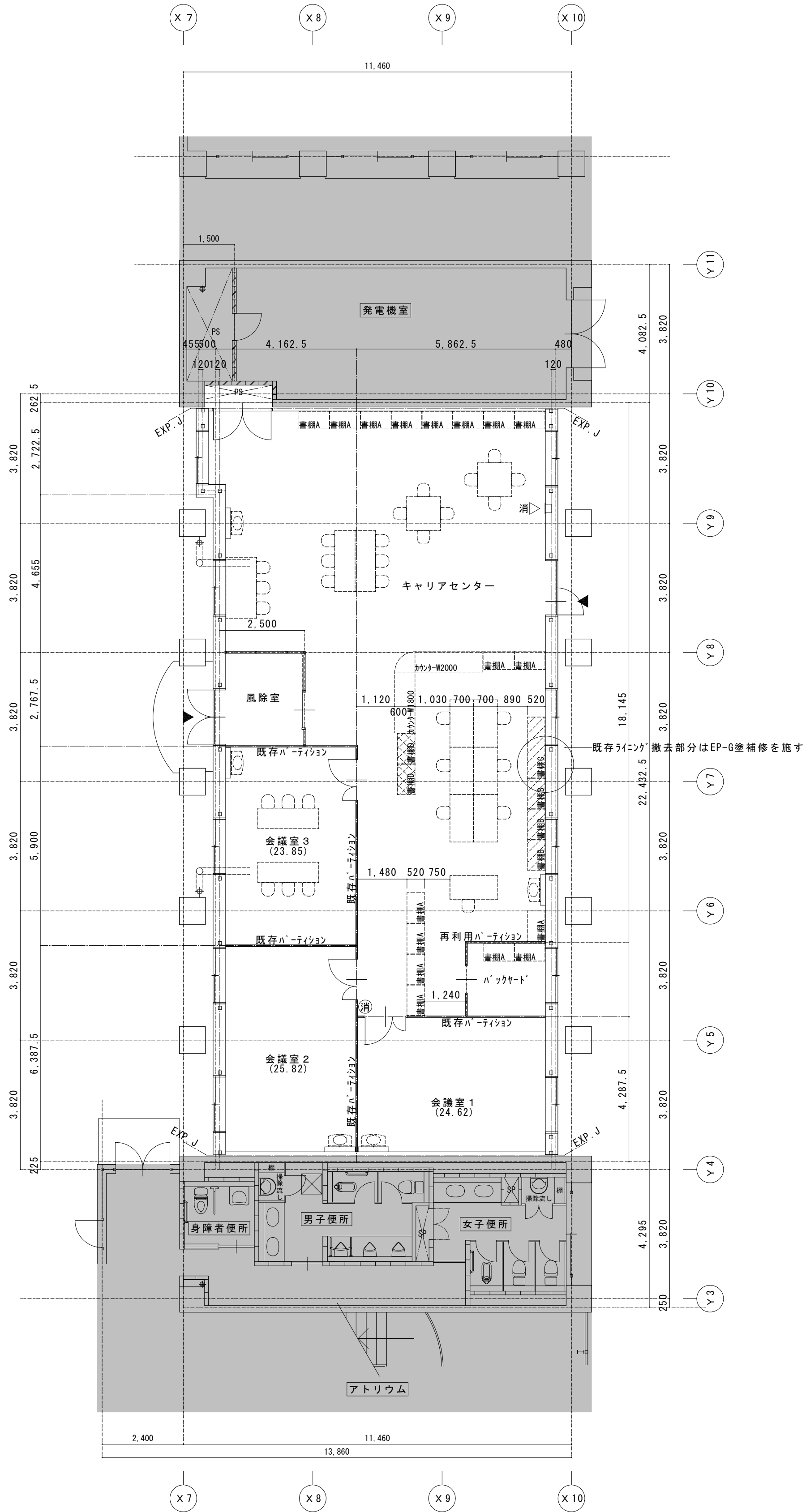
床面積計算表			単位_m2
1階	室 名	計算式（X x Y）	計
	風除室	2.767x2.62	7.2495
	ホール	10.767x1.70+2.767x1.542	22.5706
	実験室	6.345x10.025+2.602x0.38+1.033x5.862	70.6528
	教員室 1	5.90x4.162	24.5558
	教員室 2	5.90x4.162	24.5558
	教員室 3	4.288x5.862	25.1362
	教員室 4	6.388x4.162	26.5868
	教員室 5	5.90x4.162	24.5558
	P S	0.58x2.235	1.2963
	床面積 合計		227.16



合同棟 既存1階 平面図



改修第一期 平面図
(供用開始：H30年1月～)



改修第二期 平面図 (参考図：今回工事範囲外)
(供用開始：H32年7月～)

- (註記)
- 天井裏防火上主要な間仕切りの範囲を示す
 - 消火器の位置を示す (消火器ボックス組込み)
 - 消火器の位置を示す (床置き)

・ 日付 ・ ・ ・	富山市安住町7番1号 電話 (076) 432-9785 理 事 長 藤 井 均 管理建築士 一級建築士登録第152528号 竹 林 正 宏	富山県建築設計監理協同組合 一級建築士事務所 登録 (1 0) 3 2 号	工事名 富山県立大学 合同棟 増築工事		管理技術者 一級建築士登録第261836号 酒井 武志 印		図面番号 A - 0 5
			図面名 平面図	縮尺 1/100	担当		
					監修		



合同棟 既存1階 平面図

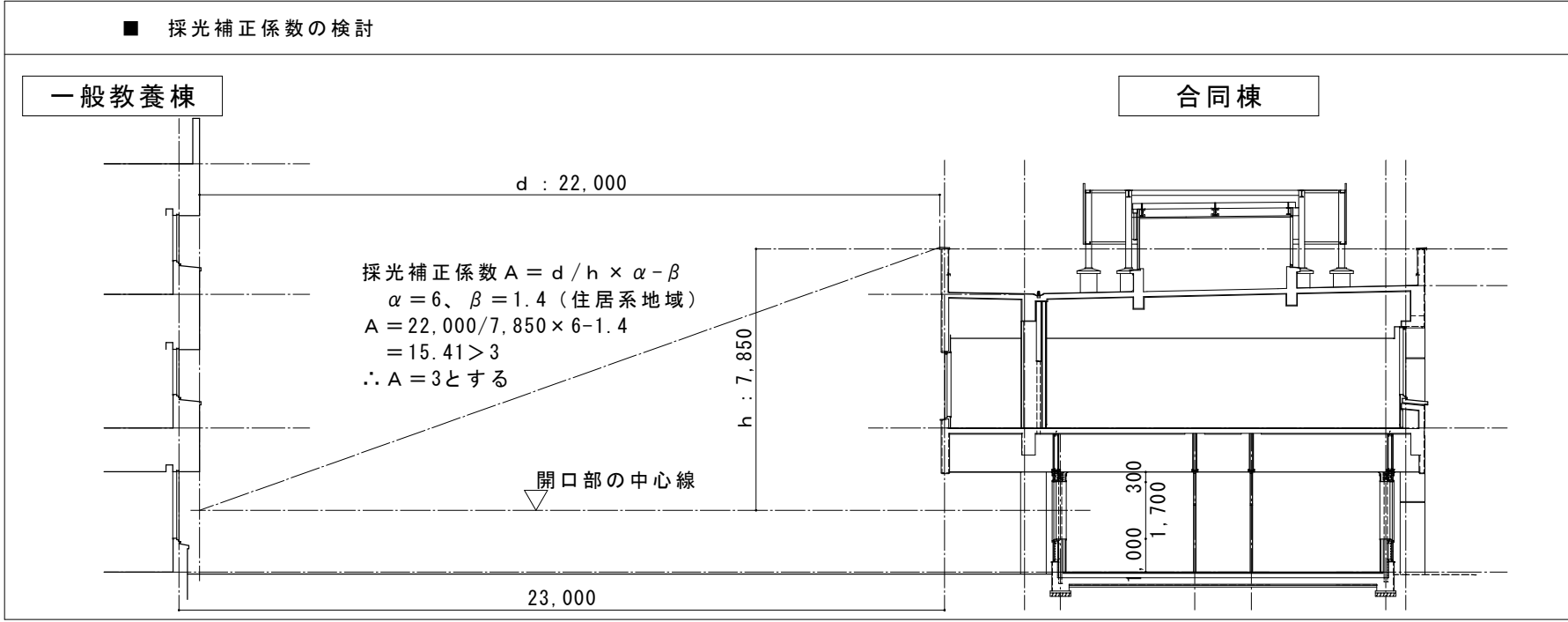
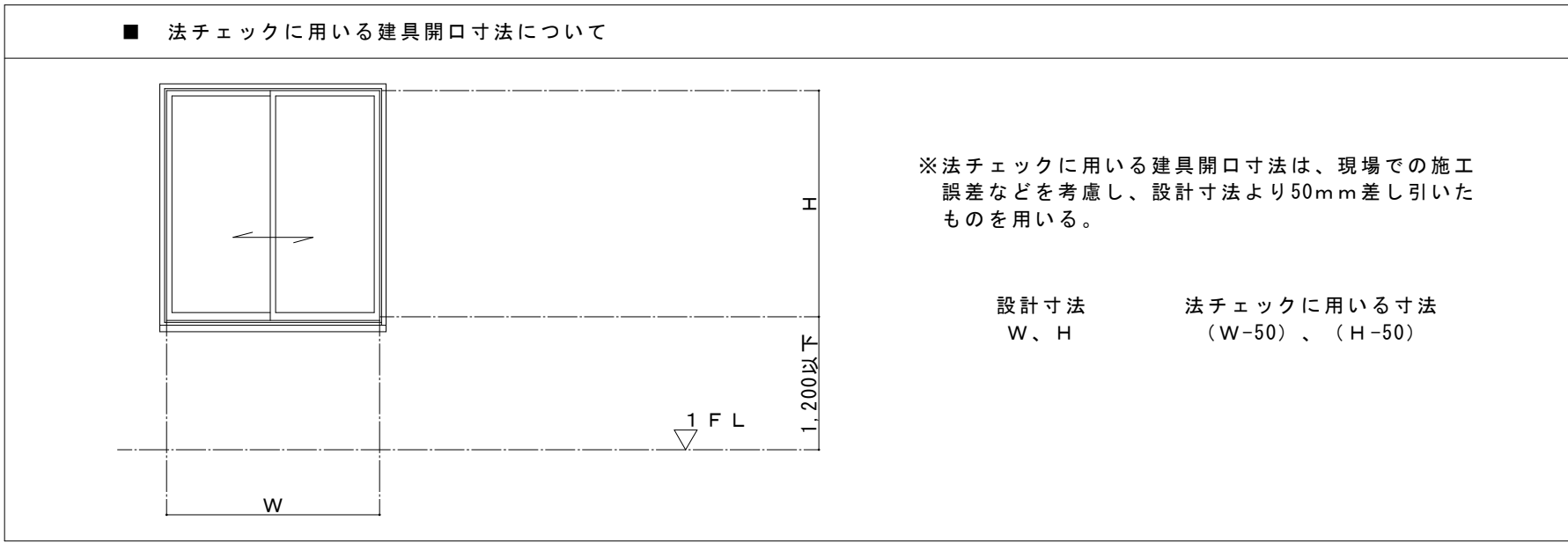
改修第一期 平面図
(供用開始：H30年1月～)

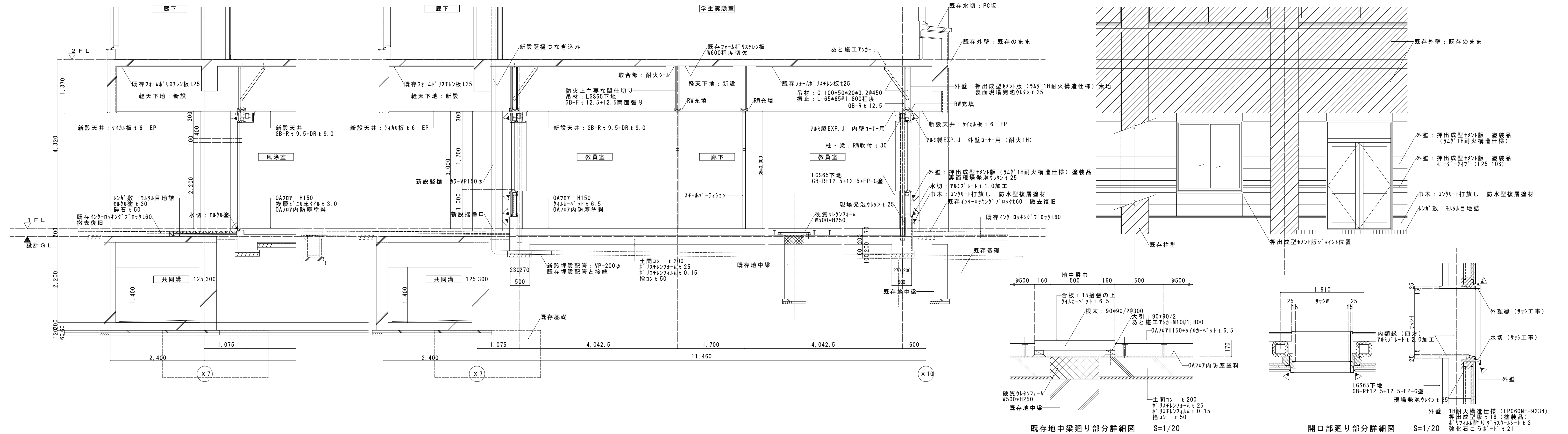
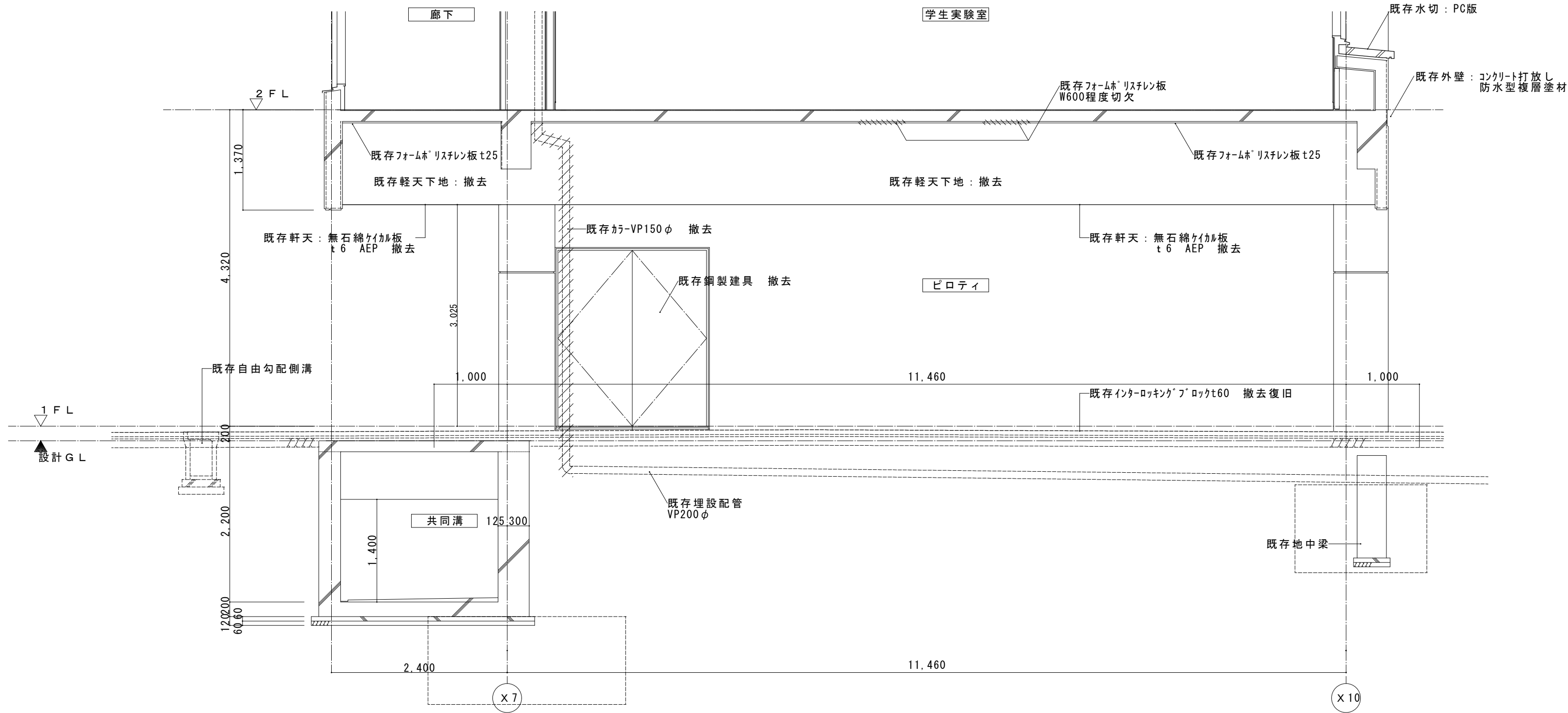
- (注記)
- 防火上主要な間仕切りの範囲を示す
(天井裏まで達しめること)
 - 消火器の位置を示す(消火器ボックス組込み)
 - 消火器の位置を示す(床置き)

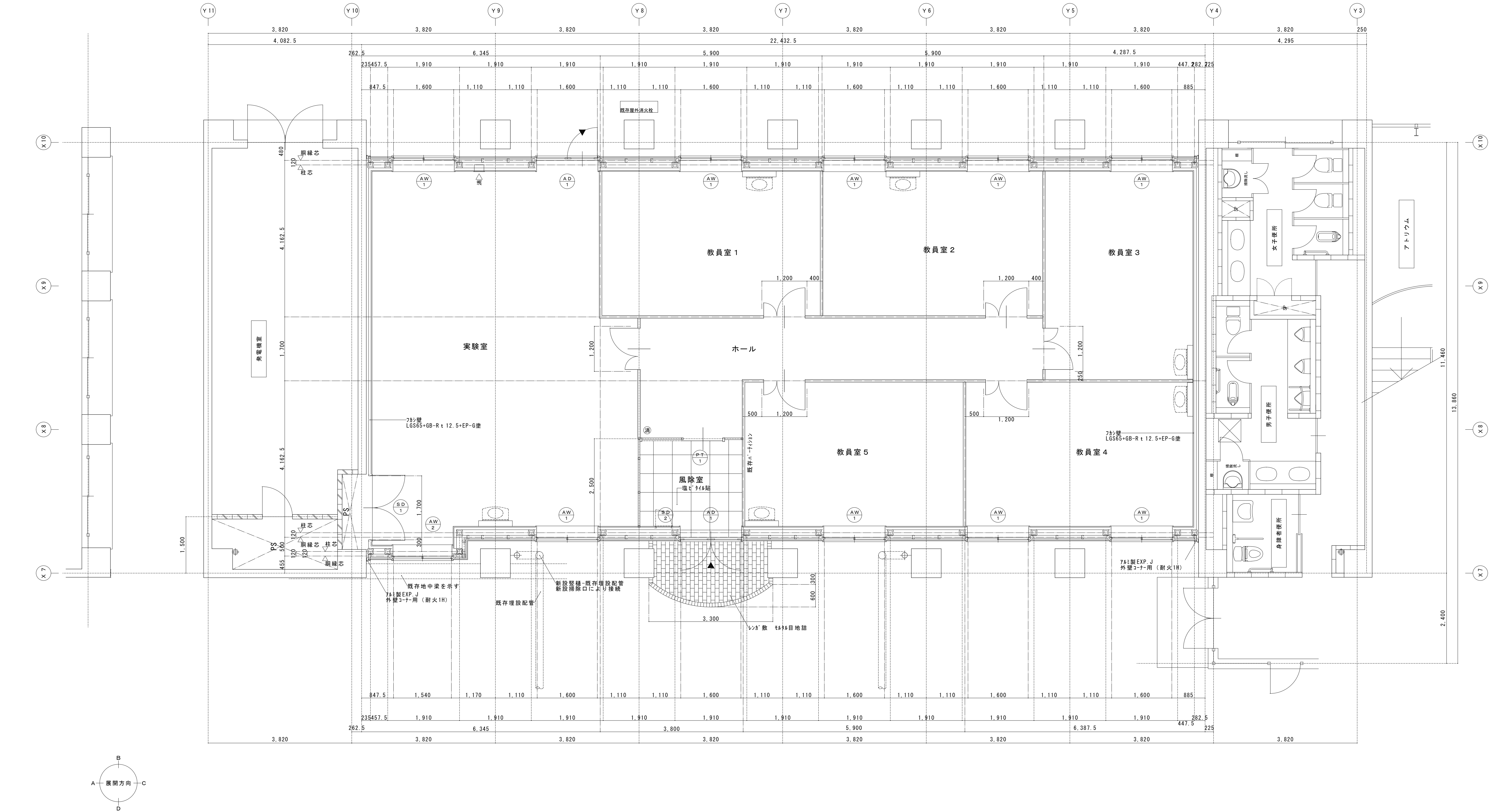
■ 採 光 チェ ッ ク (1 / 7、 1 / 1 0)						
室 名	室面積 (㎡)	必要開口面積 (㎡)	開口面積 (㎡)	採光補正	有効開口面積 (㎡)	判 定
実験室	70.65 ㎡	10.10 ㎡ (1/7)	AW-1×2+AW-2×1+AD-1×1 (1.55×1.65)×2+ (1.49×1.65)×1 + ((1.55×2.15) + (1.55×0.35)) ×1 =11.44	3	34.32 ㎡	○ K
教員室 1	24.56 ㎡	2.46 ㎡ (1/10)	AW-1×1 (1.55×1.65)×1 =2.55	3	7.65 ㎡	○ K
教員室 2	24.56 ㎡	2.46 ㎡ (1/10)	AW-1×2 (1.55×1.65)×2 =5.11	3	15.33 ㎡	○ K
教員室 3	25.13 ㎡	2.52 ㎡ (1/10)	AW-1×1 (1.55×1.65)×1 =2.55	3	7.65 ㎡	○ K
教員室 4	26.58 ㎡	2.66 ㎡ (1/10)	AW-1×2 (1.55×1.65)×2 =5.11	3	15.33 ㎡	○ K
教員室 5	24.56 ㎡	2.46 ㎡ (1/10)	AW-1×1 (1.55×1.65)×1 =2.55	3	7.65 ㎡	○ K

■ 換 気 チェ ッ ク (1 / 2 0)					判 定
室 名	室面積 (㎡)	必要開口面積 (㎡)	有効開口面積 (㎡)		
実験室	70.65	3.53	$AW-1 \times 2 + AW-2 \times 1 + AD-1 \times 1$ $(1.55 \times 1.65 \times 1/2) \times 2 + (1.49 \times 1.65 \times 1/2) \times 1$ $+ (0.80 \times 2.15) \times 1$ $= 5.50$		○ K
教員室 1	24.56	1.23	$AW-1 \times 1$ $(1.55 \times 1.65 \times 1/2) \times 1$ $= 1.27$		○ K
教員室 2	24.56	1.23	$AW-1 \times 2$ $(1.55 \times 1.65 \times 1/2) \times 2$ $= 2.55$		○ K
教員室 3	25.13	1.26	$AW-1 \times 1$ $(1.55 \times 1.65 \times 1/2) \times 1$ $= 1.27$		○ K
教員室 4	26.58	1.33	$AW-1 \times 2$ $(1.55 \times 1.65 \times 1/2) \times 2$ $= 2.55$		○ K
教員室 5	24.56	1.23	$AW-1 \times 1$ $(1.55 \times 1.65 \times 1/2) \times 1$ $= 1.27$		○ K

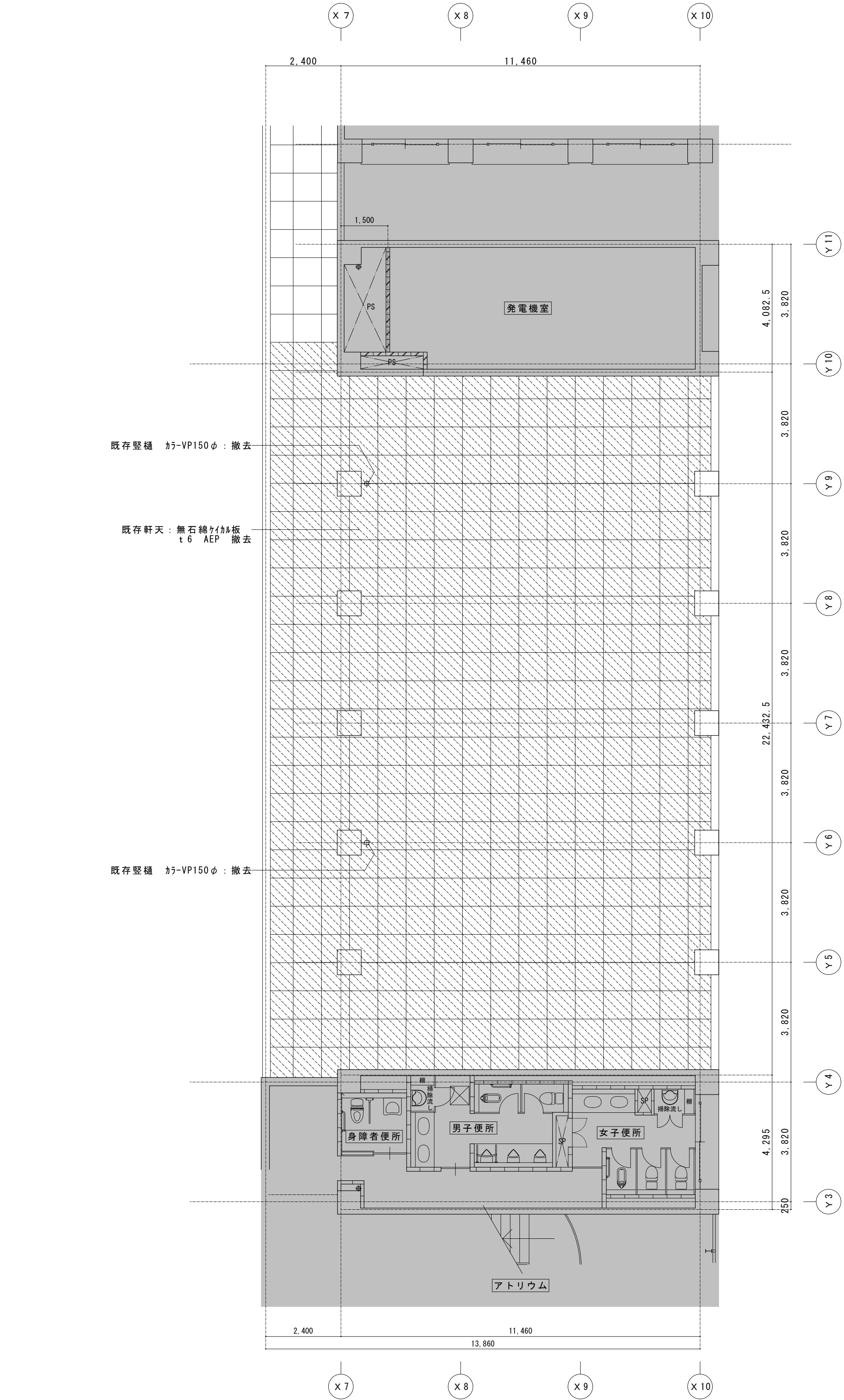
■ 消防法上の無窓階チェック (1 / 3 0) ※今回増築範囲のチェック					判 定
階 数	床面積 (㎡)	必要開口面積 (㎡)	有効開口面積 (㎡)		
1階	227.16	7.57	$AW-1 \times 9 + AW-2 \times 1 + AD-1 \times 1 + AD-2 \times 1$ $(1.55 \times 1.65 \times 1/2) \times 9 + (1.49 \times 1.65 \times 1/2) \times 1$ $+ (1.55 \times 2.15) \times 1 + (1.55 \times 2.15) \times 1$ $= 19.40$		○ K



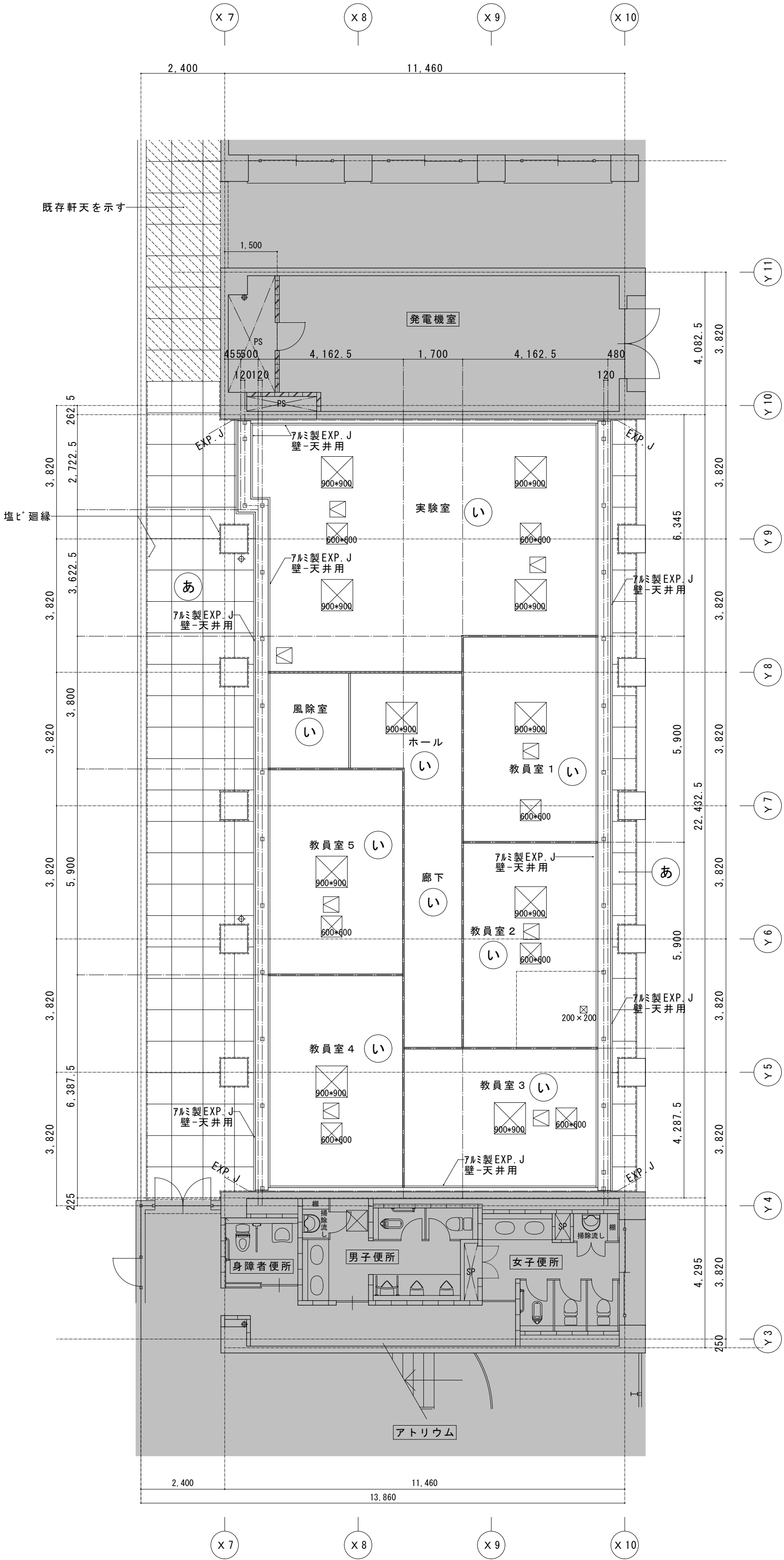




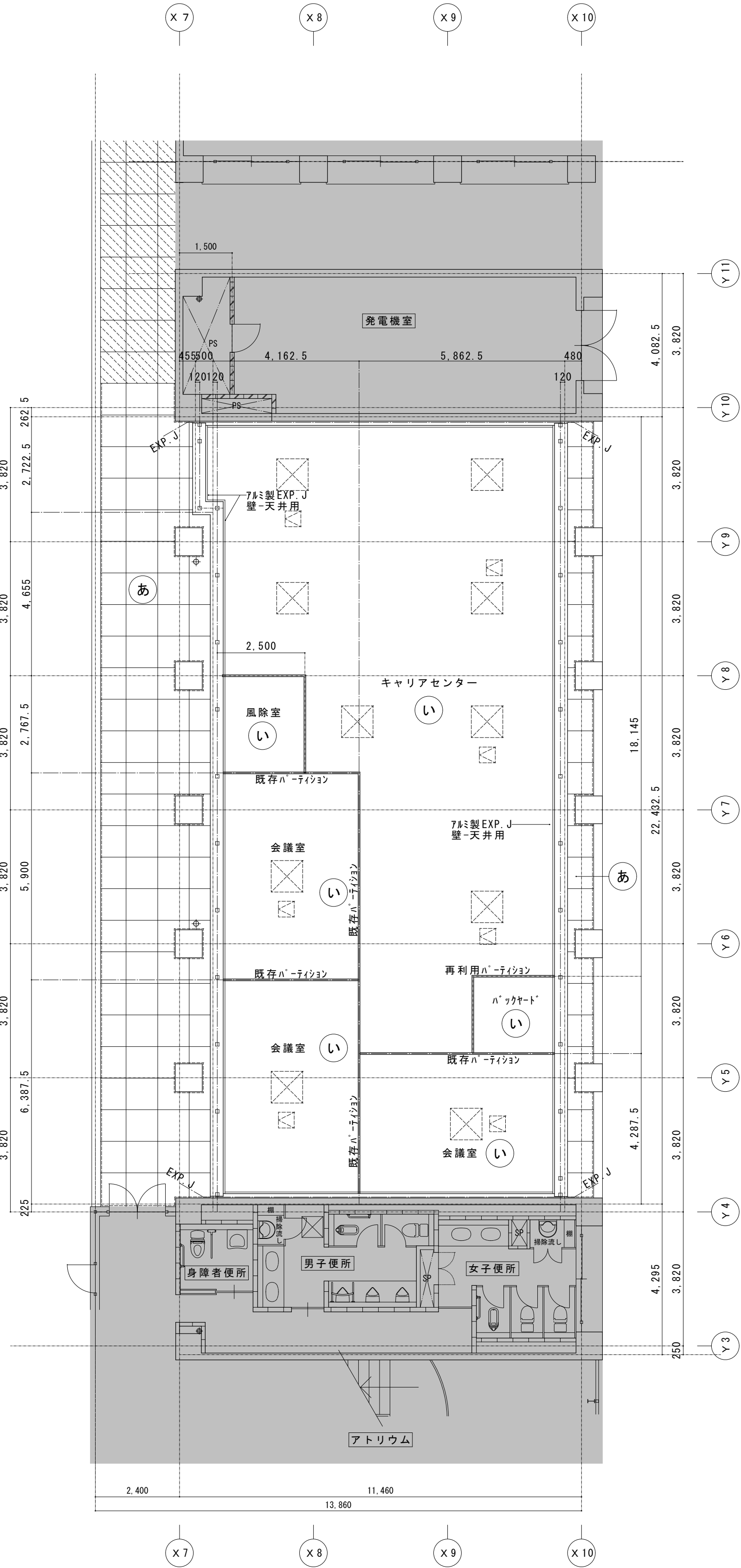
・ 日付 ・ ・ ・ ・	富山市安住町 7 番 1 号 電話 (076) 432-9785	富山県建築設計監理協同組合 一級建築士事務所 登録 (10) 3 2 号	工事名 富山県立大学 合同棟 増築工事		管理技術者 一級建築士登録第261836号 酒井 武志 印		図面番号 A - 0 7	
	理 事 長 藤 井 均		図面名 平面詳細図 (第一期)		縮尺 1/50	担当		監修
	管理建築士 一級建築士登録第152528号 竹 林 正 宏							



合同棟 既存1階 天井伏図



合同棟 既存1階 天井伏図
(供用開始：H30年1月～)



改修第二期 天井伏図 (参考図：今回工事範囲外)
(供用開始：H32年7月～)

□ 一 般 事 項

本表は設計図に示す建具及び特記事項等を一括して表示。戸棚及びカウンターその他これに類する建具は詳細図に依るものとし、本表には含まないものとする。

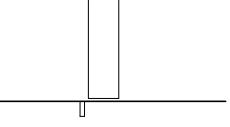
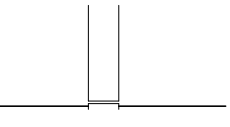
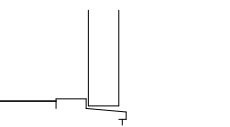
□ 建 具 凡 例

符 号	材 料	符 号	材 料
W D	木製扉	F	ふすま
W W	木製窓	S	障子
A D	アルミ製扉	S S	スチール製シャッター
A W	アルミ製窓	P	可動間仕切
C W	カーテンウオール	T B	トイレブース
S D	スチール製扉	H P	ハイパーティション
L S D	軽量スチール製扉	L P	ローパーティション

□ 硝 子 凡 例

符 号	材 料	符 号	材 料
T P	テンパライト	F L 5	フロート板ガラス 5mm
P T W	縁入磨き板ガラス 6. 8mm	F L 3	フロート板ガラス 3mm
W K T	縁入型板ガラス 6. 8mm	F 4	型板ガラス 4mm
P H W	網入磨き板ガラス 6. 8mm	ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ	ブレーションタイプ 90mm
W K H	網入型板ガラス 6. 8mm	A 6	空気層 6mm

□ 窓 摺 （特記なき限り下記による）

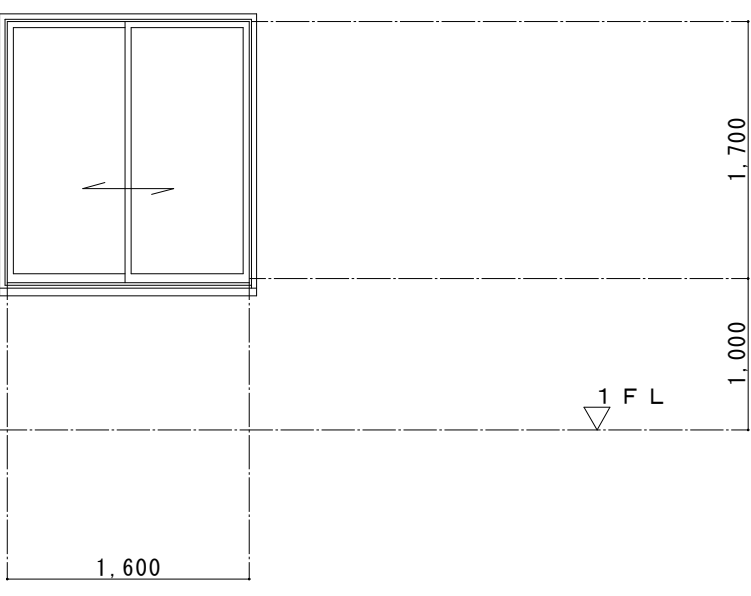
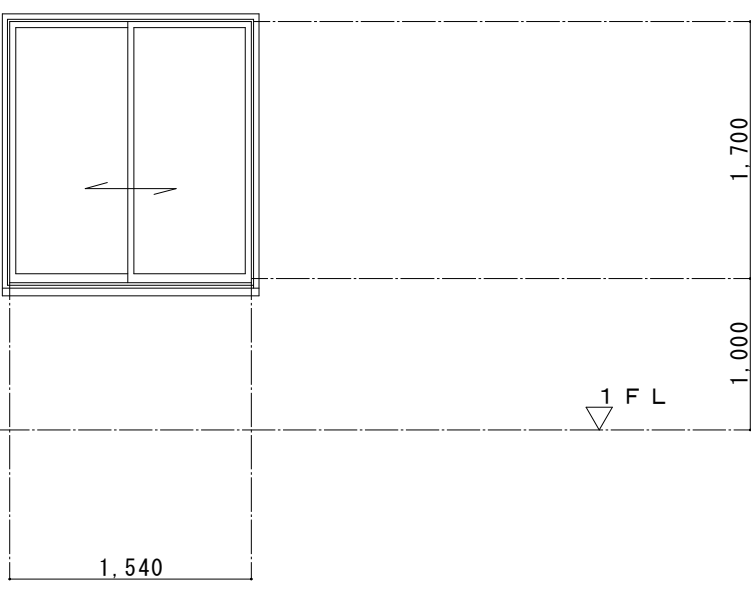
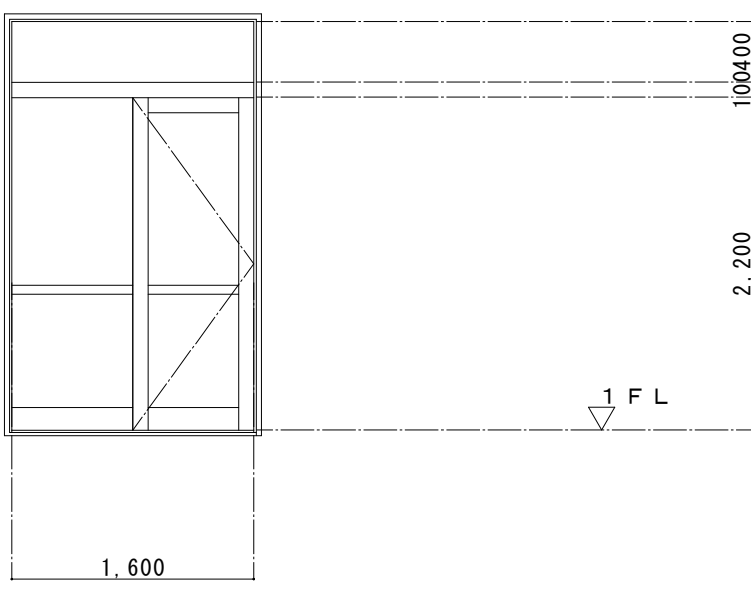
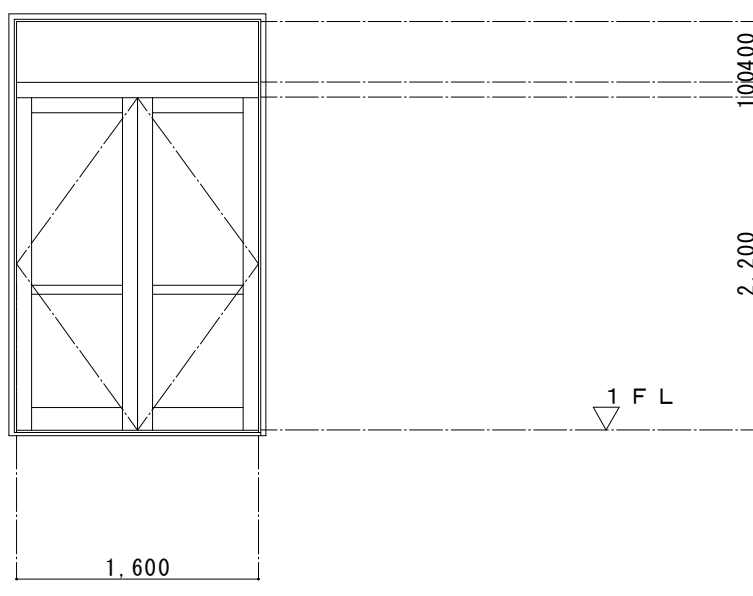
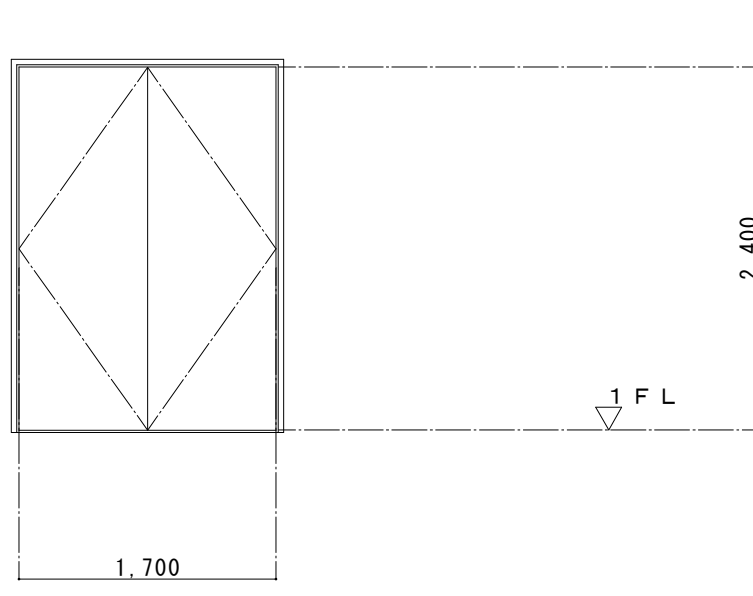
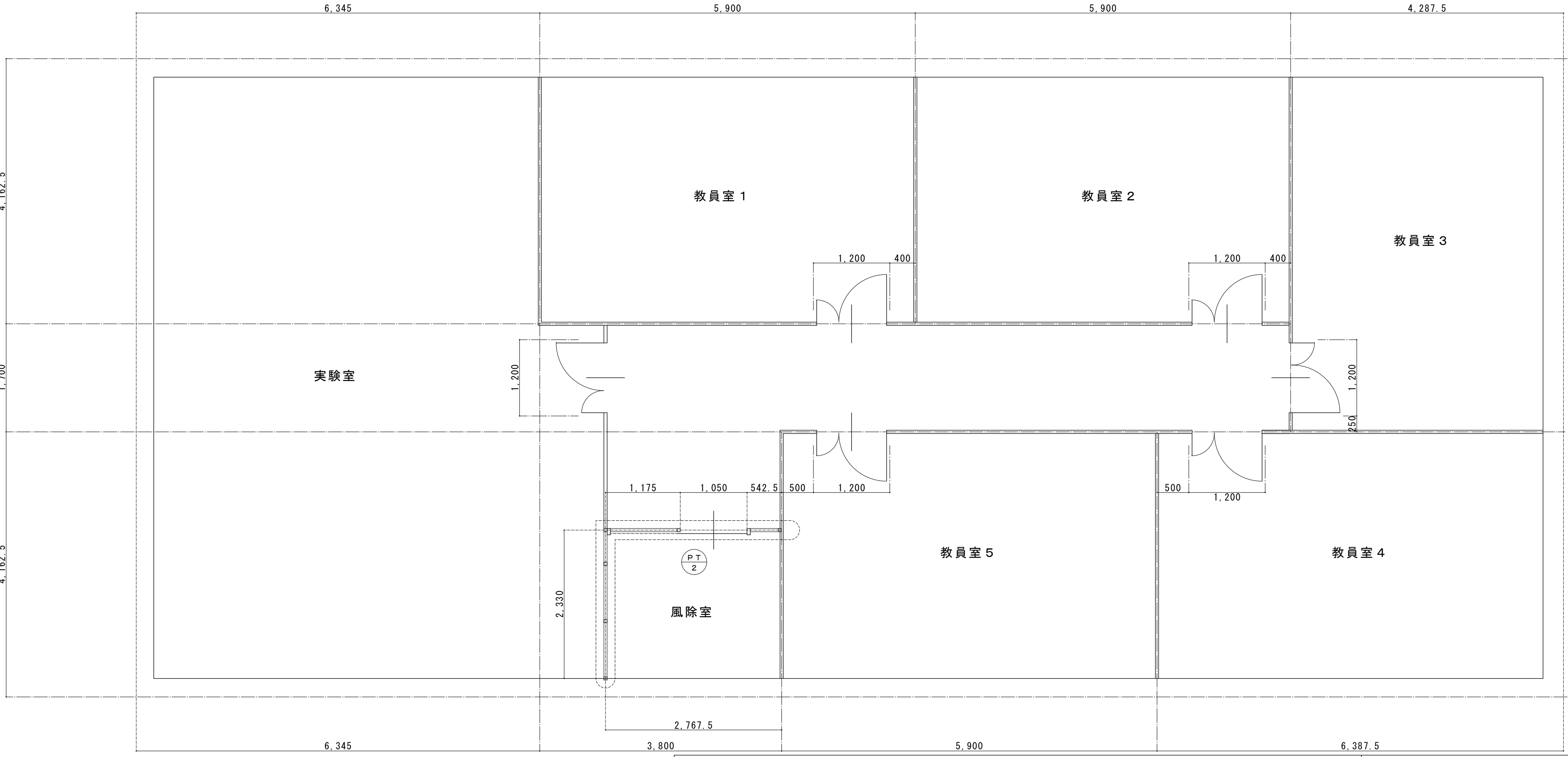
A		目地棒	1 床仕上げの異なる場合	B
			2 床仕上げ高の異なる場合	B
			3 床面より上部につく場合	C
B		厚巾巾	4 外部出入口 内部水がかり部	C
			5 防音扉	C
			6 PS等点検口で床面につく場合	B
			7 PS等点検口で床面より上部につく場合	C
C		建具枠巾	注）材質は特記なき限りはステンレス製とする	

□ 標準建具金物 （特記なき限り下記による）

開閉方式	支持類	施設類	振り錠	備 考
片開き	丁番3枚吊り	シリンダー本締り錠	レバーハンドル	戸当たり
親子開き	↑	↑	↑	戸当たり・フラスコとし
両開き	↑	↑	↑	↑
片引き	フラッターレール	↑	引き手	戸当たり
引き分け	↑	↑	↑	↑
引き違い	↑	↑	↑	↑
外倒し	隠し丁番	引手ｼﾘﾝﾀﾞｰ方式		60° 外倒し（共通）
こり出し	こり出し	レバーハンドル		開き角度調整装置

□ 特記事項

- 建具の開き勝手は平面図及び平面詳細図による
- 戸当たりの取り付け位置（床付、壁付）は現場指示とする
- アルミサッシには特記なき限り（外部に面する部分に限る）可動網戸付とする（合成樹脂網、枠は建具に準じる）
- サッシ腰のアルミ隠板、アルミ隠線は見付25とし、隠板には結露受けを付けることとする（仕上げは建具に合わせること）
- サッシ方立・壁取り付けいはアルミPL-1.5曲加工を入れる（仕上げは建具に合わせること）
- 外部アルミサッシ、アルミガラリ等にはアルミ水切りを付ける（打放し部は打放し用及び建具に合わせる）
- 煙感運動自動閉鎖装置には防煙用不燃性バツキン取り付けのこと（工枠、壁枠の3方）
- 煙感運動自動閉鎖装置は組込みまでを本工事とし、作動電源送り込みまでを電気工事とする
- 建築金物錠の材質はステンレスとする（ドアチェックは指定色焼付け塗装、オートヒンジは中心軸吊り式）
- 錠はマスターキーシステムとしてマスターキーシステムは現場打ち合わせによる
- キーボックスは必要な個数の入るものを職員室に設ける
- 外部建具、DS、PS、EPS、等の枠廻りにはバックینگ枠（4方）をを取り付ける
- 軽量スチール製扉は表面材（化粧鋼板 0.8）芯材（ペーパーハニカムコア）とパネルエッジ部分はステンレスエッジを取り付けるものとする
- 外部建具及び水掛り部建具の枠廻りはシリコン系シーリング材とする
- 建具のガラスはシリコン系シーリング押さえとする。外部出入口開き戸シリンダー錠使用箇所は、閉錠表示板を設ける
- 排煙オペレーターの操作ボックス、配管は共に壁埋込み又はサッシ枠埋込みとする操作ボックスカバーはステンレスヘアライン仕上げとし、FL≧800×1,500（クレセントはFL≦1,500以内）に取り付けるものとする
- 自動扉の安全光線は光電管とし枠内に組込む。自動扉は手動でも開閉可能とし、自動扉の表示をする
- 防音扉は内部ロウウール充填、3方枠、音槽共クロロプレンゴムバツキン入りとする（遮音性能 30dB 以上）
- 外部アルミ製建具の性能は強度 240kg/m²、気密性 8m3/h・m²、水密性 35kg/m² 以上とする
- アルミサッシには標準附属金物一式を取り付けるものとする
- 各室の引き違いアルミサッシのクレセントは錠付きとする

符号・数量	AW1 9ヶ所	AW2 1ヶ所	AD1 1ヶ所	AD2 1ヶ所	SD1 1ヶ所
寸 法					
形式・仕上・見込	7ﾒﾐ製引違い窓 電解着色・70	7ﾒﾐ製引違い窓 電解着色・70	アルミ製はめころし窓付片開きカマチ戸 電解着色・70	アルミ製はめころし窓付両開きカマチ戸 電解着色・70	軽量鋼製両開きフラッシュ戸 S O P ・ 扉：40、枠100
硝 子	FL5+A6+FL5	FL5+A6+FL5	TP5+A6+FL5	TP5+A6+FL5	
金 物	標準付属金物一式	標準付属金物一式	標準付属金物一式、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、DC、戸当り	標準付属金物一式、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、DC、戸当り	標準付属金物一式、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、DC、戸当り
付 属	外部：三方7ﾒﾐ隠線W50程度、水切 内部：四方7ﾒﾐ隠線	外部：三方7ﾒﾐ隠線W50程度、水切 内部：四方7ﾒﾐ隠線	外部：三方7ﾒﾐ隠線W50程度、ｽﾃﾝﾚｽ水切 内部：三方7ﾒﾐ隠線	外部：三方7ﾒﾐ隠線W50程度、ｽﾃﾝﾚｽ水切 内部：三方7ﾒﾐ隠線	ｽﾃﾝﾚｽ窓摺
備 考	網戸、横型ブラインド	網戸、横型ブラインド	電気錠、解錠表示板、横型ブラインド	電気錠、解錠表示板、横型ブラインド	
符号・数量	PT1 1ヶ所				
寸 法					
形式・仕上・見込	ｽﾃﾝﾚｽﾃｰﾃｨｮﾝ 亜鉛ﾒｯｸ鋼板 焼付塗装仕上・70				
硝 子	FL5				
金 物	標準付属金物一式、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠（ﾀﾞｸﾞｰﾝ付）、D C				
付 属	小松ｸﾏｰﾙ工業 ﾏｲﾃﾞｨ70同等品				
備 考	小松ｸﾏｰﾙ工業 ﾏｲﾃﾞｨ70同等品				
符号・数量	PT2 1ヶ所				
形式・仕上・見込	ｽﾃﾝﾚｽﾃｰﾃｨｮﾝ 亜鉛ﾒｯｸ鋼板 焼付塗装仕上・70				
硝 子	FL6+ﾌﾞﾛｯｸ、FL10+飛散防止ﾌﾞﾛｯｸ、TP8				
金 物	標準付属金物一式、自走式ﾊﾝﾄﾞﾙｰﾚｰﾙ、ﾀﾞｸﾞｰﾝ・ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、戸当り				
付 属	小松ｸﾏｰﾙ工業 ﾏｲﾃﾞｨGWall同等品				
備 考					
符号・数量	SD2 1ヶ所				
形式・仕上・見込	軽量鋼製開き戸（点検口用） S O P ・ 扉：25、枠5				
硝 子	FL6+飛散防止ﾌﾞﾛｯｸ、FL10+飛散防止ﾌﾞﾛｯｸ、TP8				
金 物	標準付属金物一式、平面ﾊﾝﾄﾞﾙ（錠付）				
付 属	小松ｸﾏｰﾙ工業 ﾏｲﾃﾞｨGWall同等品				
備 考					

□ 一般事項

本表は設計図に示す建具及び特記事項等を一括して表す。戸棚及びカウンターその他

これに類する建具は詳細図に依るものとし、本表には含まないものとする。

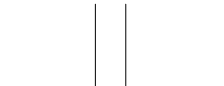
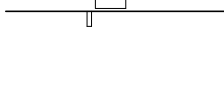
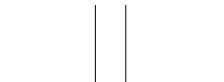
□ 建 具 凡 例

符 号	材 料	符 号	材 料
W D	木製扉	F	ふすま
W W	木製窓	S	障子
A D	アルミ製扉	S S	スチール製シャッター
A W	アルミ製窓	P	可動間仕切
C W	カーテンウォール	T B	トイレブース
S D	スチール製扉	H P	ハイパーパーティション
L S D	軽重スチール製扉	L P	ローパーティション

□ 硝子凡例

符 号	材 料	符 号	材 料
T P	テンパライト	F L 5	フロート板ガラス 5mm
P T W	繰入磨き板ガラス 6.8mm	F L 3	フロート板ガラス 3mm
W K T	繰入型板ガラス 6.8mm	F 4	型板ガラス 4mm
P H W	網入磨き板ガラス 6.8mm	ガラス? ヲク?	プレーンタイプ 90mm
W K H	網入型板ガラス 6.8mm	A 6	空気層 6mm

□ 答 摺 (特記なき限り下記による)

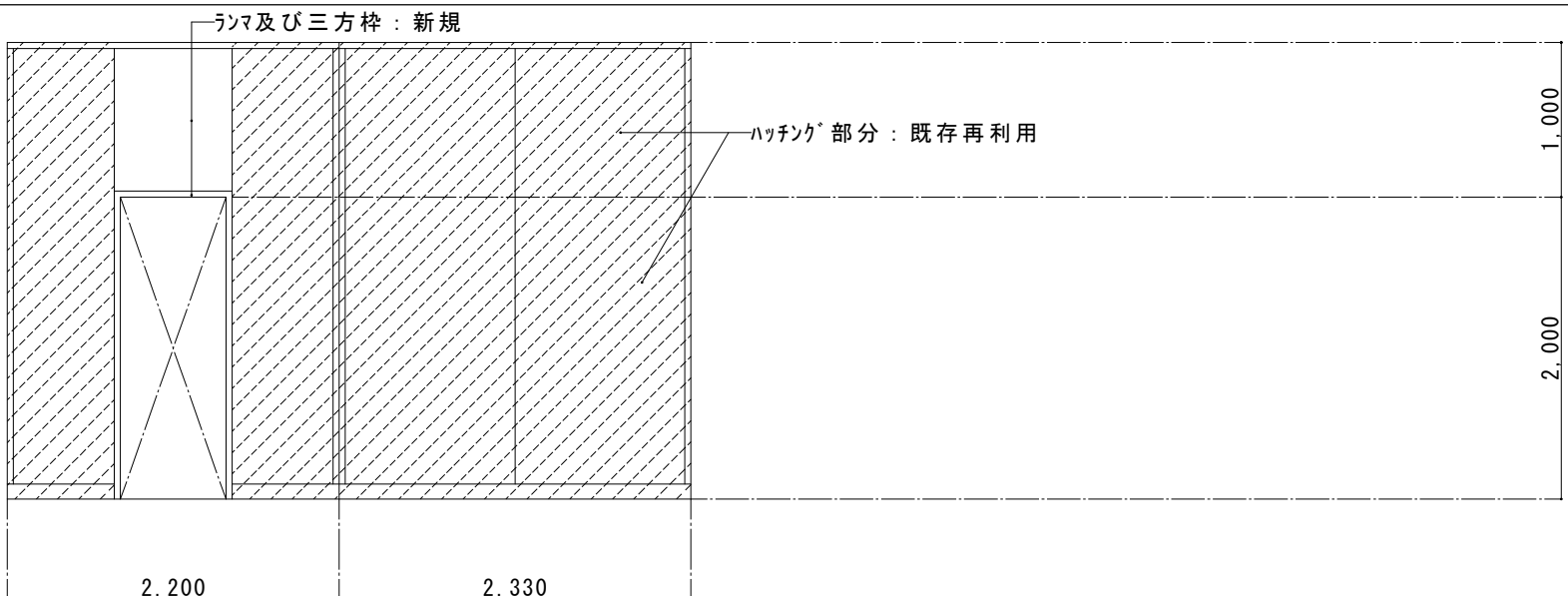
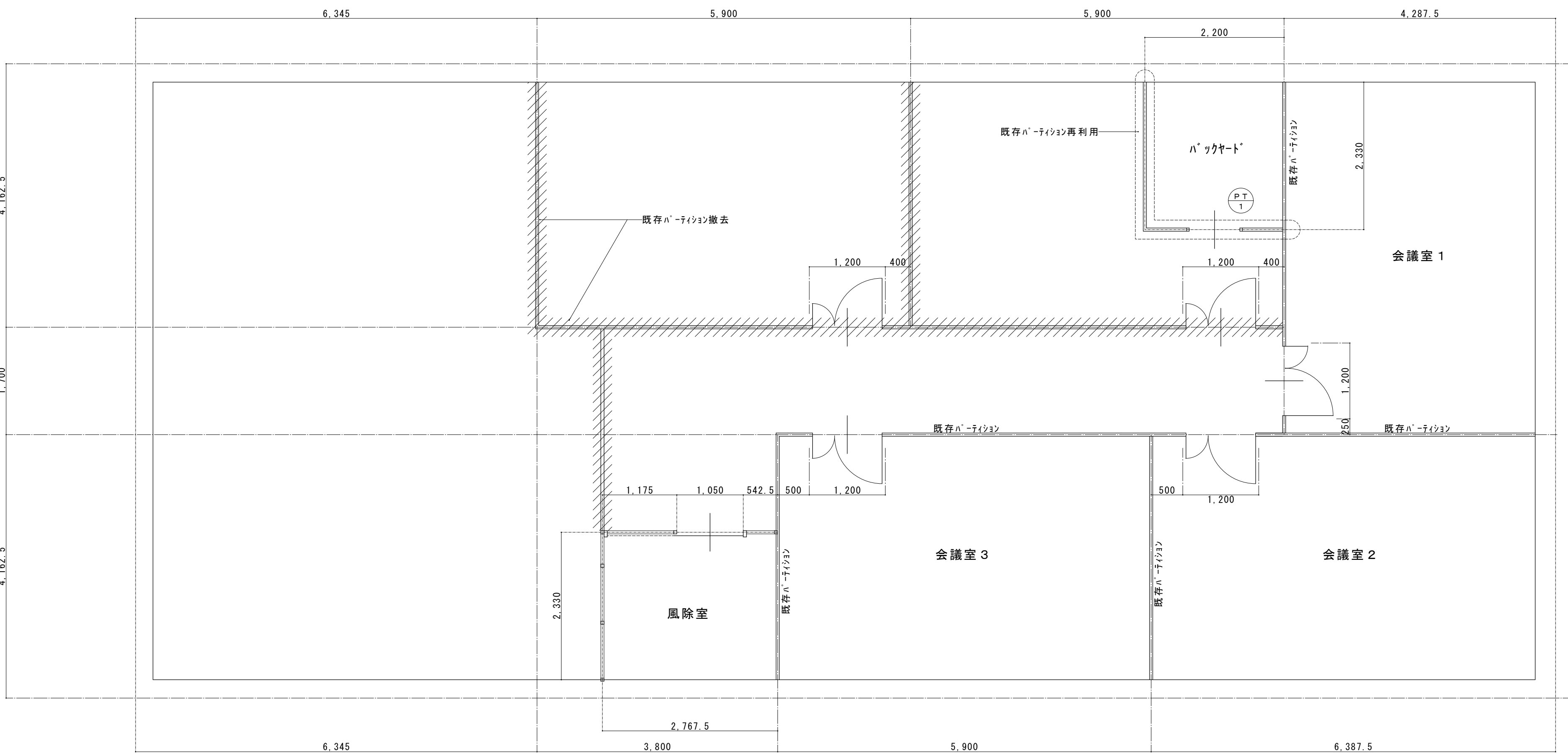
A		目地棒	1 床仕上げの異なる場合	B
			2 床仕上げ高の異なる場合	B
			3 床面より上部につく場合	C
B		扉厚巾	4 外部出入口 内部水がかり部	C
			5 防音扉	C
			6 PS等点検口で床面につく場合	B
C		建具枠巾	7 PS等点検口で床面より上部につく場合	C
			注) 材種は特記なき限りはステンレス製とする	

☐ 標準建具金物 (特記なき限り下記による)

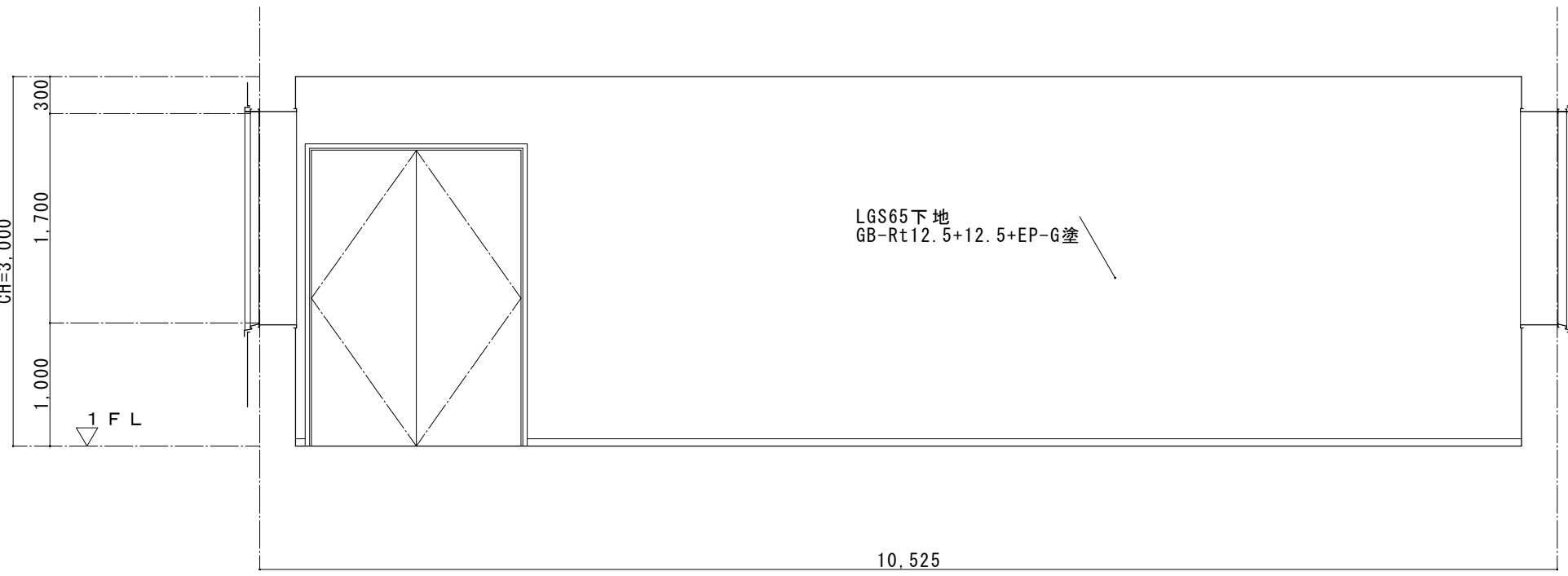
開閉方式	支持類	施設類	握り錠	備 考
片開き	丁番 3 枚吊り	シリンドー本締り錠	レバーハンドル	戸当たり
親子開き	↑	↑	↑	戸当たり・ワッ落とし
両開き	↑	↑	↑	↑
片引き	フラッターレール	↑	引き手	戸当たり
引き分け	↑	↑	↑	↑
引き違い	↑	↑	↑	↑
外倒し	隠し丁番	引手ワッカン方式		60° 外倒し (共通)
こり出し	こり出し	レバーハンドル		開き角度調整装置

□ 特記事項

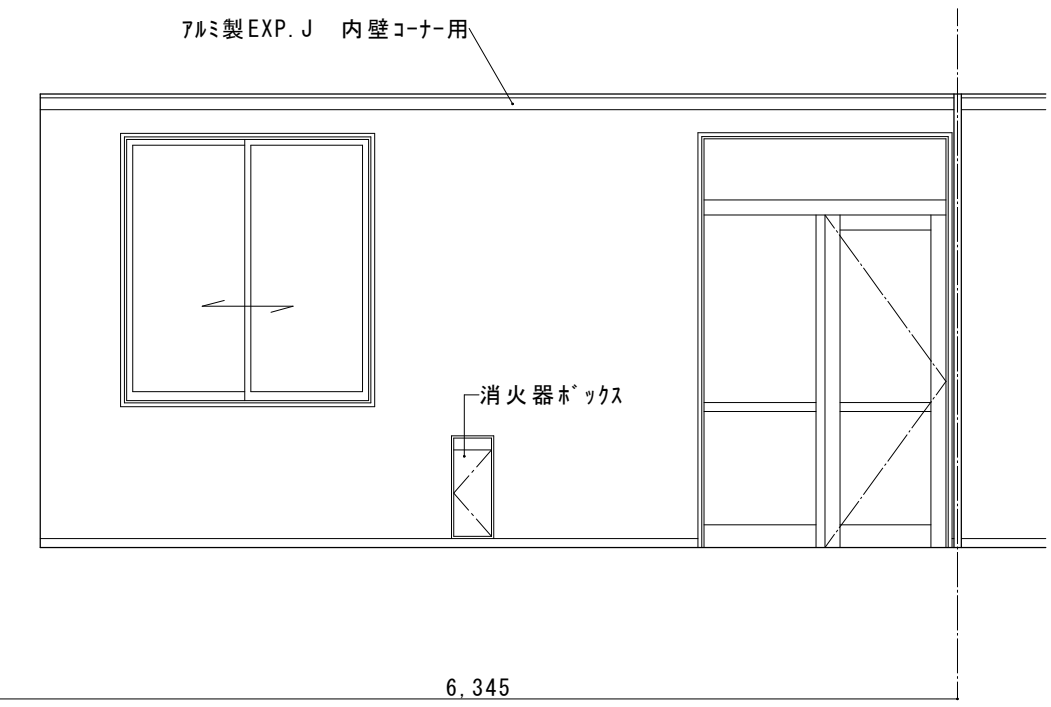
4. 建具の開き手は平面図及び平面詳細図に示す。
5. 戸当りの取り付け位置（床付、壁付）は現場指示とする。
6. アルミサッシには特に必要限り（外部に面する部分に限る）可動剛架付とする（合成樹脂剛架、枠は建具に準じる）。
7. サッシ框のアルミ膳板、アルミ縦線は見付25とし、膳板には結露受けを付けることとする（仕上りは建具に合わせること）。
8. サッシ方立・壁取り合いはアルミPL-1.5加工を入れる（仕上りは建具に合わせること）。
9. 外部アルミサッシ、アルミガラス等にはアルミ水切りを付ける（打放しは打放し及び建具に合わせる）。
10. 確造運動自動閉鎖扉には防塵用不燃性バネ水切り付の工（土・枠・壁付の工）とする。
11. 確造運動自動閉鎖扉は相対面する木工事とし、作動電線送り込みまでを電気工事とする。
12. 建築金物類の材質はステンレスとする。（ドアチェックは指定色付付塗装、オートヒンジは中心軸吊り式）
13. 錠はマスターキーシステムとしてマスターキーシステムは現場打合わせによる。
14. キーボックスは必要個数の入るものを職員室に設置する。
15. 外部建具、DS、PS、EPS、等の枠廻りにはパッキン枠（4方）をを取り付ける。
16. 軽量スチール製扉は表面材（化粧鋼板 0.8）芯材（ペーパーハニカムコア）とパネルエッジ部分はステンレスエッジを取り付けるものとする。
17. 外部建具及び水掛り部建具の枠廻りにはシリコン系シーリング材とする。
18. 建具のガラスはシリコン系シーリング押さえとする。外部出入口開き戸シリンドー錠使用箇所は、閉錠表示板を設ける。
19. 排煙オペレーターの操作ボックス、配管は共に壁埋込み又はサツ管枠埋込みとする操作ボックスカバーはステンレスヘアライン工仕とする。PL#800×1200（ウレタンはPL#1,500以内）に取付けるものとする。
20. 自動扉の全光線は光電管式と枠内に絡込む。自動扉は自動でも閉閉可能にして、自動扉の表示をする。
21. 防音扉の防振ロックアップ式強度 3方枠・音響吸収フロアプログラムバネ入りとする（遮音性能 30dB 以上）。
22. 外部アルミ製建具の性能は強度 240kg/m²、気密性 8m3/h・m²、水密性 35kg/m² 以上とする。
23. アルミサッシには標準附属金物一式を取り付けるものとする。
24. 各室の引き違いアルミサッシのウレタンは錠付きとする。

符号・数量	 PT 1 1ヶ所									
寸法										
形式・仕上・見込	既存スチールパーティション再利用 亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装仕上・70									
硝子										
金物	標準付属金物一式									
付属										
備考	小松製作工業 マイテ70同等品									
符号・数量										
寸法										
形式・仕上・見込										
硝子										
金物										
付属										
備考										

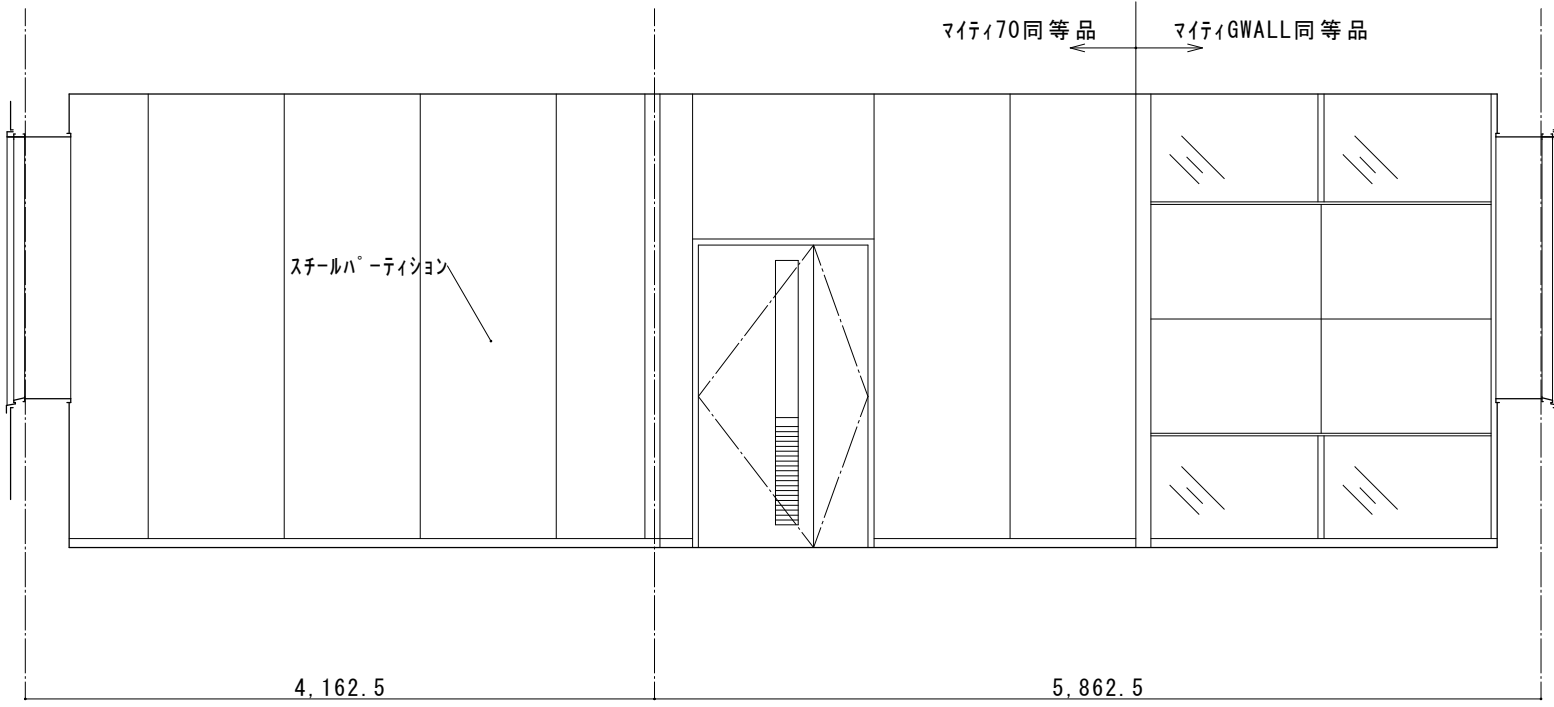
・ 日付 ・ ・ ・ ・	富山市安住町 7 番 1 号 電話 (076) 432-9785 理 事 長 藤 井 均 管理建築士 一級建築士登録第 152528 号 竹 林 正 宏	富山県建築設計監理協同組合 一級建築士事務所 登録 (10) 32 号	工事名 富山県立大学 合同棟 増築工事 管理技術者 一級建築士登録第261836号 酒井 武志 印 図面番号 A - 1 1	図面名 建具表 (第二期) 縮尺 1/100 担当 監修
--------------------------	--	--	---	---------------------------------------



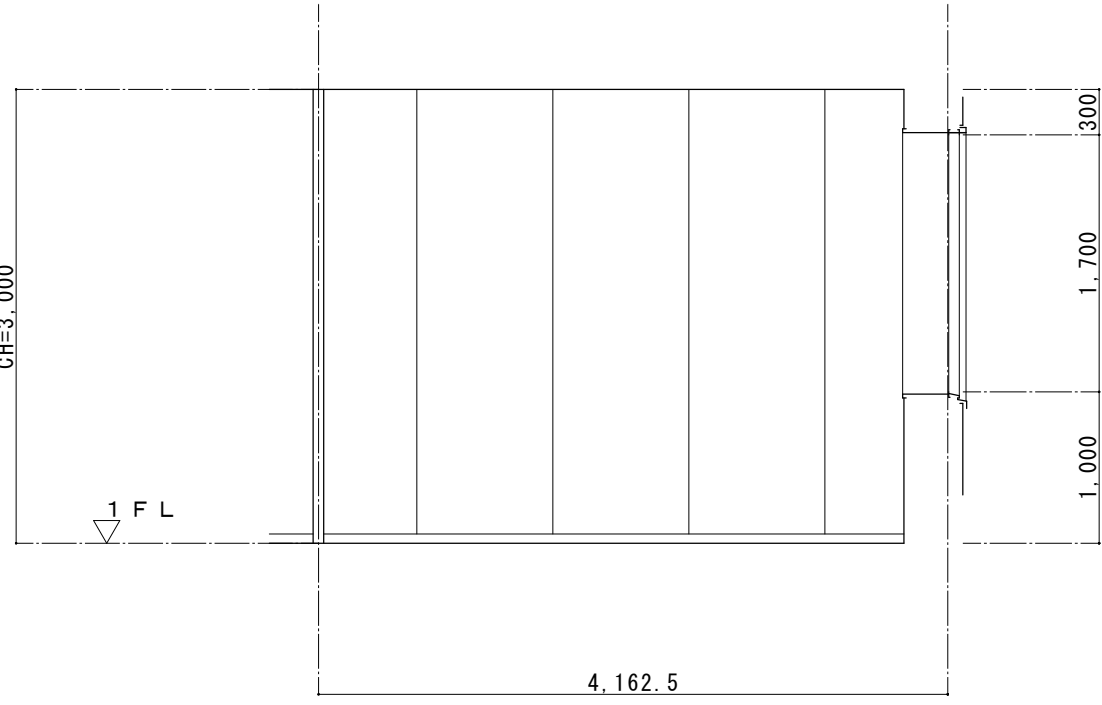
実験室 A



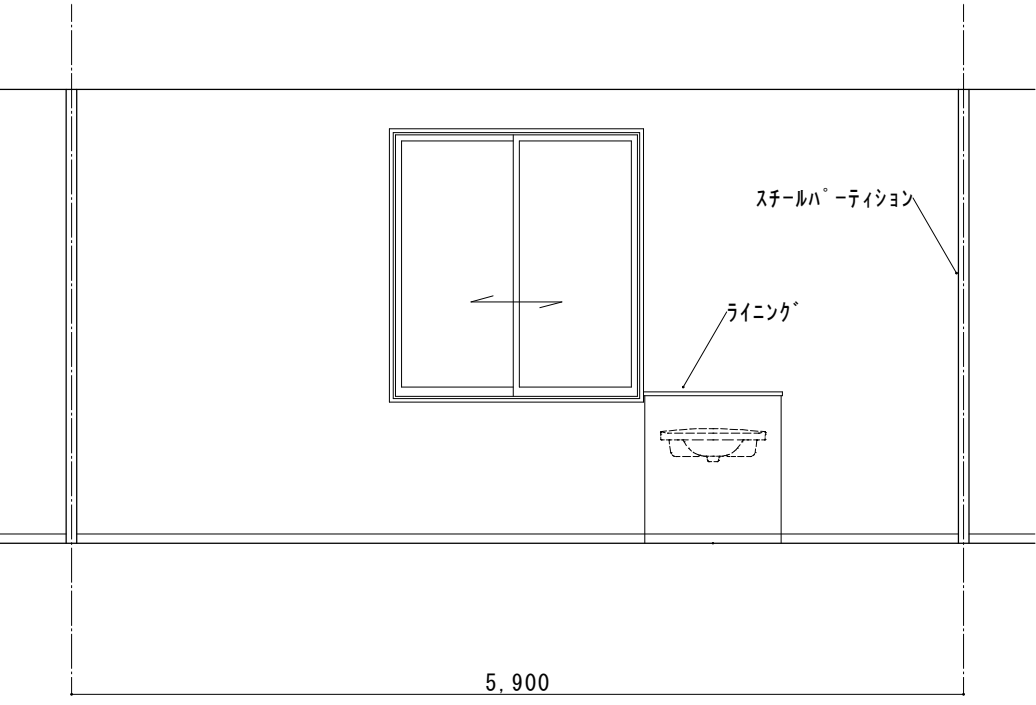
実験室 B



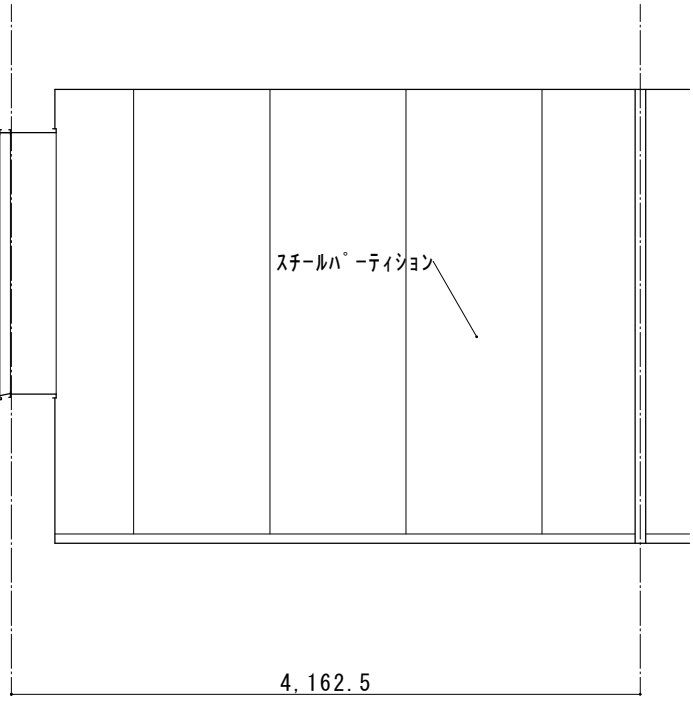
実験室 C



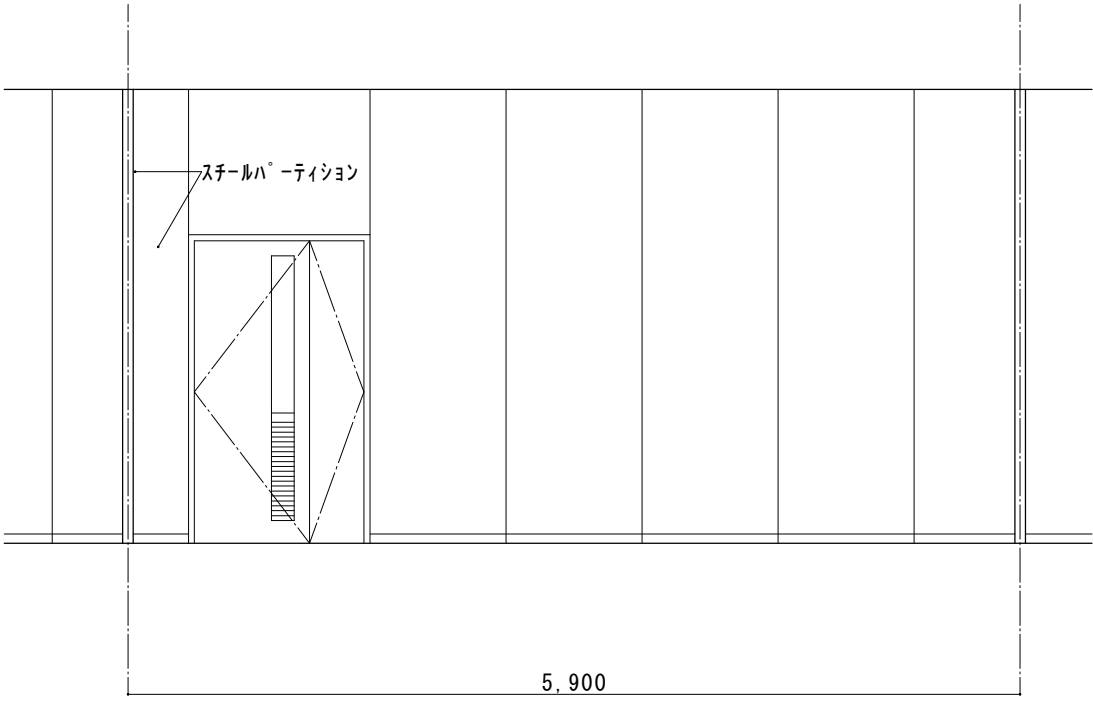
教員室 A



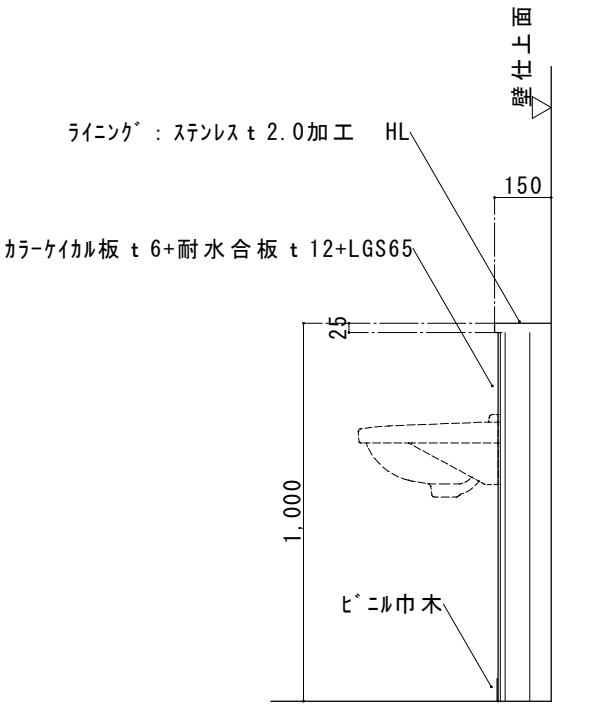
教員室 B



教員室 C

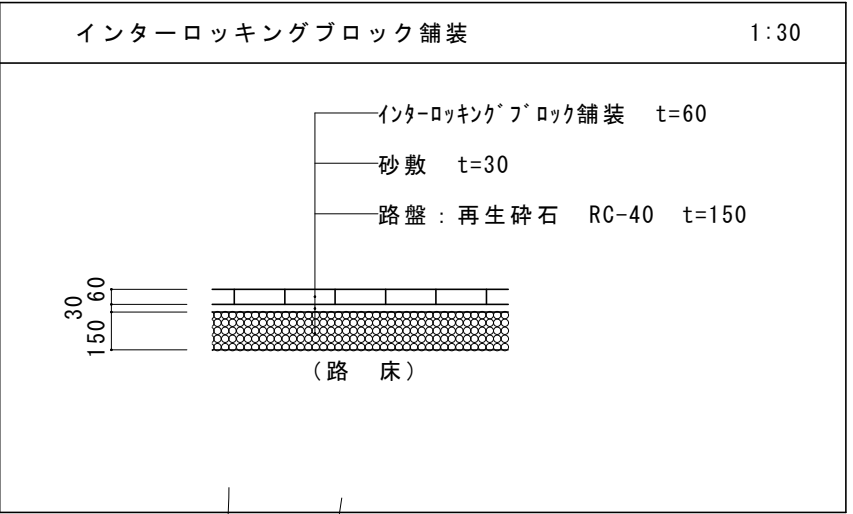
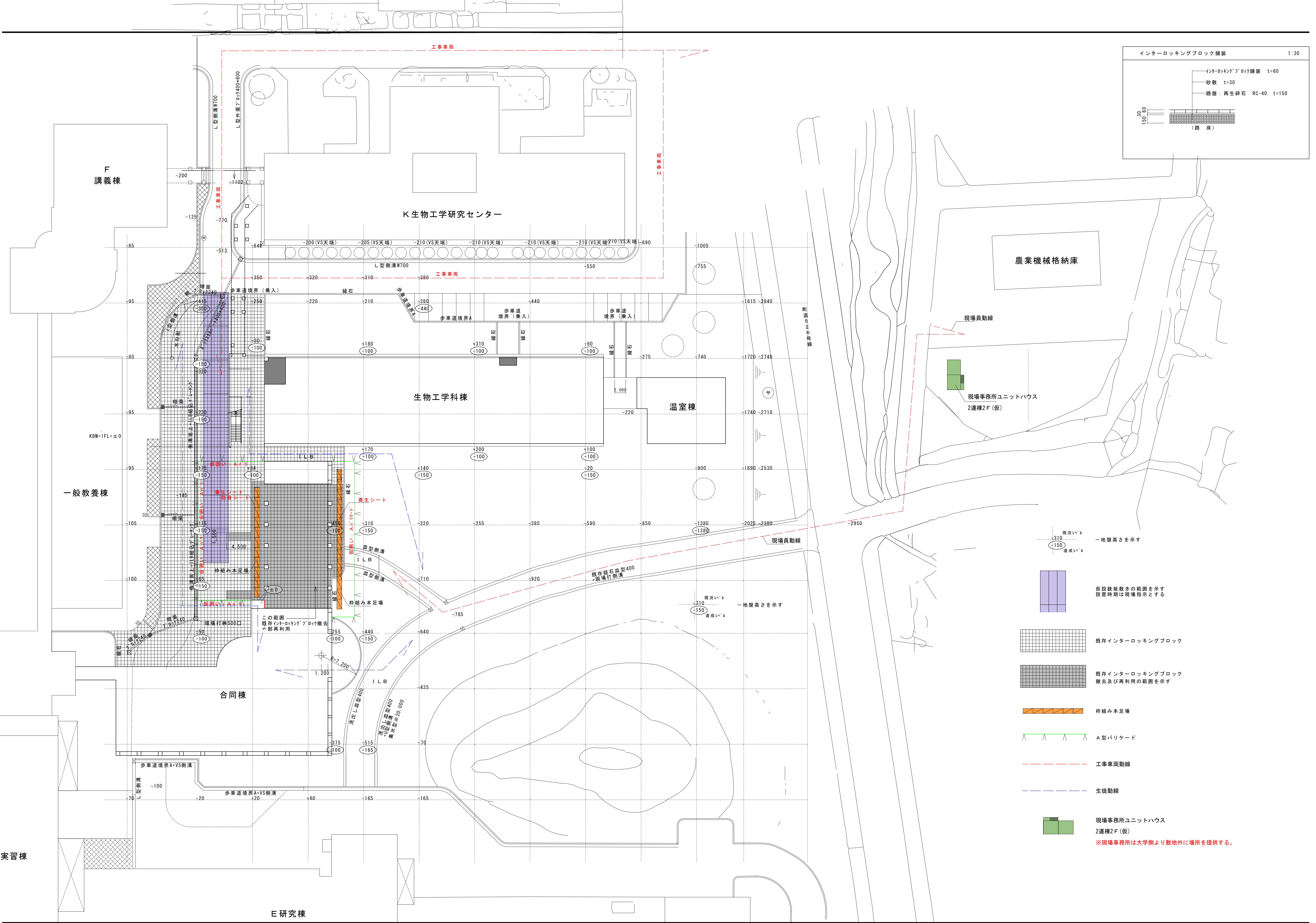


教員室 D



ライニング 詳細図 S=1/20

※各教員室もこれに倣う。



- 現地レベル
310
造成レベル
150
- 一地面高さを示す
- 仮設鉄板敷きの範囲を示す
設置時期は現場指示とする
- 既存インターロッキングブロック
- 既存インターロッキングブロック
撤去及び再利用の範囲を示す
- 枠組み本足場
- A型バリアード
- 工事車両動線
- 生徒動線
- 現場事務所ユニットハウス
2連棟2F(仮)
※現場事務所は大学側より敷地外に場所を提供する。